

令和5年度保健科学部 作業療法学科 2学年 シラバス

応用数学	・・・P1～
人間関係論	・・・P3～
死生観	・・・P6～
社会福祉学	・・・P9～
英語ⅡA	・・・P12～
英語ⅡB	・・・P15～
病理学総論	・・・P18～
人間発達学	・・・P21～
免疫学	・・・P24～
運動学演習	・・・P27～
放射線医学概論	・・・P31～
リハビリテーション医学	・・・P34～
整形外科学	・・・P37～
内科学	・・・P41～
精神医学	・・・P44～
脳・神経内科学	・・・P47～
老年学	・・・P50～
小児科学	・・・P53～
リハビリテーション栄養学	・・・P56～
薬理学	・・・P59～
危機管理学	・・・P62～
医用工学実験	・・・P65～
医療統計学	・・・P68～
身体障害作業療法評価学演習	・・・P70～
精神障害作業療法評価学演習	・・・P74～
発達障害作業療法評価学演習	・・・P77～
身体障害作業療法学	・・・P80～
身体障害作業療法学演習Ⅰ	・・・P84～
精神障害作業療法学	・・・P88～
老年期障害作業療法学	・・・P91～
発達障害作業療法学	・・・P94～
高次脳機能障害作業療法学	・・・P97～
日常生活活動学	・・・P100～
日常生活活動学実習	・・・P103～
臨床技能実習Ⅰ	・・・P108～
臨床実習Ⅱ	・・・P113～
臨床実習Ⅲ	・・・P115～

科目名 : 応用数学
英語名称 : Applied mathematics
担当責任者 : 柴田 恭子
開講年次 : 2年 前期 2単位 **授業形態** : 講義
必修・選択 : 必修（放射）、 選択（理学・作業・臨床検査）

概要 : 複数の要因によって生起する自然現象を理解するには「多変数の微積分学」の概念が必要となる。複数の要因の変化が動的に現象に影響を及ぼしているモデルを記述する道具が「偏微分方程式」であり、偏微分方程式を解析するためのツールが「フーリエ変換」と「ラプラス変換」の理論である。「フーリエ変換」はMRI、X線コンピュータトモグラフィ(CT)、陽電子放射型コンピュータトモグラフィ(PET)などの医用イメージングの理論や医用画像処理など様々な分野で非常に重要な役割を果たしている。

この授業では、多変数の微積分学、フーリエ変換、ラプラス変換の基本的な考え方を身に付ける。履修にあたっては、数学Ⅰと数学Ⅱを履修していることが望ましい。

学習目標 : (1) 偏導関数を計算できる。
(2) 連鎖律を理解し、合成関数の偏導関数を計算できる。
(3) 2重積分を用いて立体の体積を計算できる。
(4) ラプラス変換の概念を理解し、計算できる。
(5) フーリエ変換の概念を理解し、計算できる。
(6) 画像工学におけるフーリエ変換の役割を説明できる。

テキスト : 岡本和夫「新版微分積分」実務出版
岡本和夫「新版応用数学」実務出版

参考書 : 岡本和夫「新版応用数学演習」実務出版
岡本和夫「新版微分積分演習」実務出版

成績評価方法 : 平常点 40%、定期試験 60%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等：

回	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	偏導関数
2	4月20日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	連鎖律 合成関数の偏導関数の計算
3	4月27日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	重積分の定義
4	5月11日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	重積分を用いて立体の体積計算
5	5月18日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	偏微分の応用 重積分の応用
6	5月25日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	ラプラス変換の基本性質 逆ラプラス変換
7	6月1日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	ラプラス変換の応用： 常微分方程式の初期値問題
8	6月8日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	ラプラス変換の応用： 常微分方程式の境界値問題
9	6月15日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	ラプラス変換の応用例
10	6月22日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	フーリエ級数
11	6月29日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	複数フーリエ級数
12	7月6日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	フーリエ級数の 偏微分方程式への応用
13	7月13日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	フーリエの積分公式と フーリエ変換
14	7月20日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	フーリエ変換のいろいろな性質
15	7月27日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	フーリエ変換の 偏微分方程式への応用

科目名： 人間関係論

英語名称： Human Relations

担当責任者： 柴田恭子

開講年次： 2年，学期：後期，必修（理学療法学科，作業療法学科）／選択（診療放射線科学科，臨床検査学科），授業形態：講義

概要：

主として社会学、社会心理学、心理人類学の知見に拠りながら、人間関係について考察する基礎知識、並びに、日本人の人間関係の特色とそれを育んできた背景と考えられることについて探究します。

学習目標：

一般目標：

社会・文化的な条件とその下に置かれた人間の心理や行動を、相関的に考察できるようになる。

行動目標：

- 1) 人間関係について考える上で基本となる概念や理論を理解できるようになる。
- 2) 日本人の人間関係の特色を理解できるようになる。
- 3) 子どもの社会化や発達と人間関係の相関について、原理的に理解できるようになる。

授業スケジュール／担当教員等：

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	12/14	5	講義室 1	佐藤知菜	オリエンテーション／基礎的な視点の確認 1： 様々な物事を、人と人との「関係」に紐づけて考えるための基礎的な概念・考え方を確認します。
2	12/14	6	講義室 1	佐藤知菜	基礎的な視点の確認 2： 第 1 回の続きを行います。
3	12/14	7	講義室 1	佐藤知菜	子どもの発達と相互行為： 人間の自己がどのように形成されるのか、これまで為されてきた議論を整理します。
4	12/21	5	講義室 1	佐藤知菜	社会調査の基礎： 人間関係や社会について調べ、考察する際に必要な知識や注意すべき点を説明します。

5	12/21	6	講義室 1	佐藤知菜	地域社会 1： 地域で形成される人間関係と、 地域が生活に与える影響につ いて論じます。
6	12/21	7	講義室 1	佐藤知菜	地域社会 2： 第 5 回の続きを行います。
7	1/18	5	講義室 1	佐藤知菜	家族関係 1： 夫妻関係、親子関係など、家族 の中の関係性や、家族をとりま く環境について、歴史的な流れ を踏まえて論じます。
8	1/18	6	講義室 1	佐藤知菜	家族関係 2： 第 7 回の続きを行います。
9	1/18	7	講義室 1	佐藤知菜	ジェンダー・セクシュアリティ： 性現象に対する認識の展開につ いて、今日的な状況も踏まえな がら論じます。
10	1/25	5	講義室 1	佐藤知菜	教育・格差 1： 学校化社会と呼ばれる今日の 状況を踏まえながら、教育と 格差の関係について論じま す。
11	1/25	6	講義室 1	佐藤知菜	教育・格差 2： 第 10 回の続きを行います。
12	1/25	7	講義室 1	佐藤知菜	労働と社会： 雇用労働について、その誕生 と今日的な特徴を論じます。
13	2/1	5	講義室 1	佐藤知菜	医療と生活 1： 現代社会における病や死の位 置づけと、それに関連する人 間関係の問題について論じま す。
14	2/1	6	講義室 1	佐藤知菜	医療と生活 2： 第 13 回の続きを行います。

15	2/1	7	講義室 1	佐藤知菜	レポートの基礎： レポートを作成するための方法 と注意すべき点を説明します。
----	-----	---	-------	------	----------------------------------------------

テキスト： 必要に応じ、順次、プリントを配布いたします。

参考書： 講義を踏まえ、適時、紹介していきます。

成績評価方法：

- 1) 出席状況や各回のレスポンス・シート、授業内の発言、レポート内容などを踏まえて総合的に評価します。
- 2) 欠席の場合には、各回の内容に関係のある論文・書籍を指定しますので、それについてまとめた報告書の提出をお願いします。

その他（メッセージ等）：

- 1) 基礎的な視点を確認した後の第 5 回以降では、各自興味のある社会現象についての簡単な調べ学習や、グループ・ディスカッションの時間を設けます。自分とは異なる考え方や、人間関係から生じる諸問題にどのように向き合っていくべきか、具体的に考える機会にしていきたいと思えます。

科目名 : 死生観【保健2】
英語名称 : View on life and death
担当責任者 : 本多創史
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義・討論
必修・選択 : 選択

概要 : 少子超高齢社会を迎えた日本では、いままでになかった勢いで様々な価値観（例えば、女性観、男性観、家族観、職業観、宗教観など）が変化しています。何か確固とした理想的な生き方といったものは見つけにくくなってきました。そのようななかで、人間の生や死についての関心はとて高まってきています。
しかも、私たちは巨大な災害によって多くの人命が失われる事態に遭遇しました。「生きる意味とは何か、死とは何か」という問題を探求せざるをえなくなっています。死生観とは、人間の生と死をどのように把握し、どのようにこの問題と向き合うかといった考察です。古今東西の宗教や思想家がこの問題についてさまざまな考察を行いました。
この授業では、そのような死生観をふりかえり、さまざまな角度からこのテーマについて考えます。生と死に向き合う医療職の営みにも参考になる授業を目指しています。

学習目標 : 【一般目標】 古今東西の宗教や思想の死生観を把握するとともに、その死生観の社会的歴史的背景についても理解し、さらに現代の「生と死」の問題とも関連させて考察する態度を身につける。
【行動目標】
1各宗教および思想家の死生観を文献資料や映像から把握することができる。
2伝統的の死生観と現代人の死についての意識とを比較し、論じることができる。
テキスト : 授業時に配布する。

参考書 : 以下を参考書とする。
1, 島藺進ほか『死生学』1～5 東京大学出版会、2008年
2, 立川昭二『日本人の死生観』筑摩書房、1998年
3, 波平恵美子『日本人の死のかたち』朝日新聞社、2004年
4, 佐藤弘夫『死者の花嫁 葬送と追想の列島史』幻戯書房、2015年
5, 金菱清（ゼミナール）編『呼び覚まされる霊性の震災学——3・11 生と死のはざままで』新曜社、2016年

成績評価方法 : ミニ・レポートの内容(75%)と授業への参画態度(25%)を総合し、成績を決定する。

その他 : 死生観は生きていく間に他者（死者と生者）との関係をどのように構築していくかという課題を問いかけます。自分はどのように他者とつながるのか、問いをもちつつ、他者理解・異文化理解を試みましょう。授業が積極的な議論の場となることを願っています。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	6	駅前	末永恵子	導入 討論方法・レポート作成方法
2	4月20日	6	駅前	末永恵子	喪と追悼、死者と生者、葬送の意義
3	4月27日	6	駅前	末永恵子	死者とのつながり、看取り、葬儀、悲嘆
4	5月11日	6	駅前	末永恵子	異文化としての死生観 チベット仏教（1）
5	5月18日	6	駅前	末永恵子	異文化としての死生観 チベット仏教（2）
6	5月25日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教1 仏教（1） 原始仏教、輪廻転生
7	6月1日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教2 仏教（2） 日本への定着
8	6月8日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教3 儒教・道教 沈黙の宗教
9	6月15日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教4 神道（1） 魂の行方
10	6月22日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教5 神道（2） 死生観と国家
11	6月29日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教6 キリスト教 （1）旧約聖書
12	7月6日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教7 キリスト教 （2）新約聖書

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教8 イスラム教 (1) 基礎知識
14	7月20日	6	駅前	末永恵子	死生観と宗教9 イスラム教 (2) クルアーンの中の天国と地獄
15	7月27日	6	駅前	末永恵子	総括 まとめ

科目名 : 社会福祉学
英語名称 : Social Welfare
担当責任者 : 柴田 邦 昭
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 社会福祉の基本は、国民一人一人が抱える具体的な生活課題に対し、国民の生活と健康を保障するための支援にあたることである。本講では社会福祉の原理・原則・体制などの社会福祉原論と様々な福祉制度・システムと医療連携についてを学びます。

学習目標 : 1) 社会福祉の大枠を理解する。
2) 社会福祉の基本的な枠組み、法律および制度について理解する。
3) 社会福祉を推進させるための資源や様々な連携を理解する。
4) 生活者の福祉問題の現状と課題を理解する。
5) 社会福祉に関する事項を的確に整理することができ、自分なりの見解を記述することができる。

テキスト : 改訂 社会福祉論 建帛社

参考書 : 現代の社会福祉 建帛社 他適時指示します。

成績評価方法 : レポート提出により評価を行う。

その他 : 社会福祉を学ぶためには、人間や社会への深い認識や、広い視野を有するのと同時に、社会福祉についての体系的・総合的な学びが求められます。さらには理論的な学びとともに、できるだけ人々の生活の現実や実態に触れるこ
メッセージ等
実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	5	駅前	柴田邦昭	現代と社会福祉 21世紀の福祉目標 現代社会の諸問題と人権思想
2	4月20日	5	駅前	〃	社会福祉の基礎理解 社会福祉とは 我が国における社会福祉概念
3	4月27日	5	駅前	〃	社会福祉の歴史 社会福祉の歴史を学ぶ意義 西洋における社会福祉の歴史
4	5月11日	5	駅前	〃	社会福祉の法律と制度 社会福祉の法制 社会福祉の機関
5	5月18日	5	駅前	〃	貧困と公的扶助 貧困問題と公的扶助 公的扶助の歴史
6	5月25日	5	駅前	〃	子どもと家庭の福祉 子どもと家庭福祉とは 現代社会と児童問題
7	6月1日	5	駅前	〃	高齢者の福祉1 超高齢社会の到来 高齢者福祉制度の変遷
8	6月8日	5	駅前	〃	高齢者の福祉2 介護保健制度 人材確保と専門性の向上
9	6月15日	5	駅前	〃	障害者の福祉1 障害者福祉とは 障害のある人の生活ニーズ
10	6月22日	5	駅前	〃	障害者の福祉2 障害者福祉の施策 障害者福祉に関する課題
11	6月29日	5	駅前	〃	ひとり親家庭の福祉・女性福祉 ひとり親家庭の福祉 女性の現状と女性福祉
12	7月6日	5	駅前	〃	社会福祉援助技術 援助技術を支える基本的 利用者への直接的援助技術

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	5	駅前	柴田邦昭	地域福祉 1 地域福祉の発展 地域福祉の具体的な活動
14	7月20日	5	駅前	〃	地域福祉 2 地域福祉計画の策定と住民参加
15	7月27日	5	駅前	〃	医療福祉 医療福祉とは 医療福祉における諸課題

科目名 : 英語 2 A
英語名称 : English 2A
担当責任者 : 安田尚子
開講年次 : 2 年 前 期 1 単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 様々な英文資料やアクティビティを通して、英語の基礎的語彙や表現について学びながら英語の 4 技能を習得する。またグループワークでの課題を通してアカデミックスキルや、外国人に医療やその他情報を提供するために必要な英語表現を正しく選択し、使えるproductive skills (speaking & writing)の習得を目指す。この授業は4学科合同で、同一時間帯に3クラス編成で行われる。

学習目標 : 基本的な表現を正しく発音し、その意味が理解できる。
様々なテキストの主題を理解することができる。
学術的な語彙、文法、文章構成を理解することができる。
地域に必要な情報を英語で提供することができる。
視覚情報や映像を用いて情報を英語で表現することができる。

テキスト : 教員がハンドアウトを準備する

参考書 : 参考書：適宜指示する

成績評価方法 : クラス活動25%、課題25%、中間・期末試験各25%

その他 : 今までに培った英語力を基に、書く・話すといったプロダクションレベルのメッセージ等力を身につけていきます。また、自分の意見を相手にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力をグループワークを通じて磨きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Introduction: syllabus, etc.
2			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
3			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
4			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
5			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
6			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
7			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
8			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class1-7)
9			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
10			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
11			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
12			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
14			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
15			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class 9-14)

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 英語 2 B
英語名称 : English 2B
担当責任者 : 安田尚子
開講年次 : 2 年 後 期 1 単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 様々な英文資料やアクティビティを通して、英語の基礎的語彙や表現について学びながら英語の 4 技能を習得する。またグループワークでの課題を通してアカデミックスキルや、外国人に医療やその他情報を提供するために必要な英語表現を正しく選択し、使えるproductive skills (speaking & writing)の習得を目指す。この授業は4学科合同で、同一時間帯に3クラス編成で行われる。

学習目標 : 基本的な表現を正しく発音し、その意味が理解できる。
様々なテキストの主題を理解することができる。
学術的な語彙、文法、文章構成を理解することができる。
地域に必要な情報を英語で提供することができる。
視覚情報や映像を用いて情報を英語で表現することができる。

テキスト : 教員がハンドアウトを準備する

参考書 : 参考書：適宜指示する

成績評価方法 : クラス活動25%、課題25%、中間・期末試験各25%

その他 : 今までに培った英語力を基に、書く・話すといったプロダクションレベルの
メッセージ等 力を身につけていきます。また、自分の意見を相手にわかりやすく伝えられる
コミュニケーション能力をグループワークを通じて磨きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Introduction: syllabus, etc.
2			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
3			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
4			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
5			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
6			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
7			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
8			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class1-7)
9			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
10			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
11			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
12			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
14			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Class Activity
15			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class 9-14)

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 病理学総論
英語名称 : Introductory Pathology
担当責任者 : 宇月美和
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 病理学は疾病の原因・本質を解明する学問であり、疾病を理解する上で基礎となる科目である。疾病に関する医療用語の意味と定義、疾病を起こす原因、疾病に伴う人体の機能的および形態的变化を科学的に理解し、説明できるレベルの知識を身につける。また疾病による組織の形態的变化を理解するとともに、各種疾病の本態を理解するには解剖、生理、生化、細菌等の基礎的知識が必要であり、これらの内容を総合的に組み合わせることによって疾病の背景を理解することができる。

学習目標 : 1) 基本的な疾患の分類とその中に含まれる疾患の概念・定義を理論的に確実に説明できる。
2) 疾患あるいは病的現象に関して、適切な医学用語を使用し説明できる。
3) 主要な疾患の成因や、疾患によってもたらされる臓器の形態的・機能的変化を正常状態と比較し説明できる。
4) 疾患の大きなカテゴリーと臓器の組み合わせによって、個別の疾患を系統的に理解する。
5) 病理検査の内容について説明できる。

テキスト : わかりやすい病理学 (南江堂)

参考書 : よくわかる病理学の基本としくみ (秀和システム)

成績評価方法 : 定期試験80%、小テスト20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月12日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	病理学概論 病態の概念、病因の理解、臨床医学への応用
2	4月19日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	退行性病変 萎縮、変性、壊死、沈着症
3	4月26日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	代謝異常 蛋白、アミノ産、脂質、糖質代謝異常
4	5月10日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	循環障害 局所の循環不全（充血、うっ血、水腫、虚血）、全身の循環不全（貧血、ショック）
5	5月17日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	進行性病変 細胞増殖と再生、生理的化生と病的化生、肥大と過形成、創傷治癒
6	5月24日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	炎症（1） 炎症の原因、生体反応、治癒
7	5月31日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	炎症（2） 炎症の種類と組織反応、器質化
8	6月7日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	免疫（1） 免疫応答、免疫担当細胞、液性免疫と細胞性免疫
9	6月14日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	免疫（2） アレルギーの機序と種類、自己免疫疾患、免疫不全
10	6月21日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	感染症（1） 感染発症と生体反応、宿主病因
11	6月28日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	感染症（2） 原因（ウイルス、細菌、真菌、原虫）、特異性炎（結核他）の肉芽腫と肉芽組織、院内感染
12	7月5日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	腫瘍（1） 腫瘍の形態 発育、悪性度、発生要因、宿主要因、前癌病変と前癌状態、異型性と異形成

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月12日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	腫瘍（2） 腫瘍の疫学、分類（良性、悪性、上皮性、非上皮性）
14	7月19日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	先天異常と新生児・小児疾患 奇形、遺伝子・染色体異常、小児疾患
15	7月26日	1	駅前	宇月美和（臨床検査学科）	老化のメカニズム、臓器・組織・細胞の変化

科目名 : 人間発達学
英語名称 : Human Development
担当責任者 : 倉澤茂樹
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必須

概要 : 人は生涯にわたり発達する。人にはライフステージに応じた発達学的課題がある。人の健康を支援する医療専門職において、人間発達を学ぶことは対象者を理解する上で不可欠である。発達は、体の成長などの生物学的な側面だけでなく、社会性やパーソナリティなど様々な視点で理解する必要がある。本科目では、各発達段階における発達の特徴について、姿勢反射や反応、感覚・知覚・認知及び社会性の視点から学び、発達と遊びとの関係についても理解を深める。

学習目標 : 1) 主要な発達理論について説明することができる。
2) 各発達段階における発達の特徴を示すことができる。
3) 人間の発達を支援するために必要なことがわかる。
4) 関連する書籍や文献などを主体的に調べることができる。

テキスト : 辛島千恵子編著「人間発達とライフサイクル」理工図書株式会社 2019年

参考書 : 参考書：上杉雅之監修「イラストでわかる人間発達学」医歯薬出版株式会社

成績評価方法 : 課題30点、定期試験70点

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	3	駅前	楠本泰士（理学療法学科）	発達（姿勢反射/反応） 原始反射、姿勢反射/反応とは①
2	4月18日	3	駅前	楠本泰士（理学療法学科）	発達（姿勢反射/反応） 原始反射、姿勢反射/反応とは②
3	4月25日	3	駅前	楠本泰士（理学療法学科）	発達（姿勢反射/反応） 0ヶ月～7ヶ月まで
4	5月2日	3	駅前	楠本泰士（理学療法学科）	発達（姿勢反射/反応） 7ヶ月～18ヶ月まで
5	5月9日	3	駅前	楠本泰士（理学療法学科）	発達（姿勢反射/反応） 1歳半～6歳まで
6	5月16日	3	駅前	楠本泰士（理学療法学科）	運動発達 寝返りから座位まで
7	5月23日	3	駅前	楠本泰士（理学療法学科）	運動発達 座位から歩行まで
8	5月30日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	人間発達とは ・発達とは ・発達の要因
9	6月6日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	発達理論① エリクソンの発達理論
10	6月13日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	発達理論② ピアジェの発達理論
11	6月20日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	上肢機能の発達
12	6月27日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	感覚、知覚の発達

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月4日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	認知の発達
14	7月11日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	社会性の発達
15	7月18日	3	駅前	倉澤茂樹（作業療法学科）	日常生活動作と遊びの発達

科目名 : 免疫学
英語名称 : Immunology
担当責任者 : 鈴木英明
開講年次 : 2年前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修：臨床検査学科、選択：理学療法学科、作業療法学科、診療放射線科学科

概要 : 臨床で活躍する医療人として必要な生体防御機構について学習する。生体は常に細菌やウイルスなどの外敵から身を守る必要がある。この外敵から身を守るために、白血球を中心とする様々な細胞は相互に助成し合いコミュニケーションを取りながらチームプレイで作業している。この生命維持に重要な生体防御反応のメカニズムに関与する胸腺などの免疫を担当する免疫器官、白血球を中心とした免疫担当細胞、体液内の免疫を担う蛋白成分である抗体や補体、それらを活性化あるいは制御する際に分泌されるサイトカインについて、その特徴や機能について学ぶ。

学習目標 :
・免疫担当細胞間の相互作用について理解する。
・抗原・抗体・補体の特徴と機能について理解する。
・自然免疫および獲得免疫の機序とその特徴について理解する。

テキスト : ヒトの免疫学-基本から疾患理解につなげる- 南江堂

参考書 : 臨床検査学講座 免疫検査学 (医歯薬出版)
病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 MEDIC MEDIA

成績評価方法 : 小テスト(20%)、定期試験(80%)

その他 : 目に見えない生体防御反応は免疫学特有の表現があり戸惑うかもしれません。しかし、感染症、自己免疫疾患、腫瘍、アレルギーや免疫不全など様々な疾患に関連する基礎知識となりますので積極的な姿勢で臨んでください。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	免疫の歴史
2	4月20日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	生体防御反応の概要
3	4月27日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	抗原 種類と特徴
4	5月11日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	抗体 構造と抗原認識
5	5月18日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	免疫担当細胞 顆粒球の種類と働き
6	5月25日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	免疫担当細胞 リンパ球の種類と働き
7	6月1日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	免疫担当細胞 ファゴサイト
8	6月8日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	自然免疫
9	6月15日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	炎症
10	6月22日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	獲得免疫 抗原提示
11	6月29日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	獲得免疫 体液性免疫
12	7月6日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	獲得免疫 細胞性免疫

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	補体
14	7月20日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	免疫寛容
15	7月27日	3	駅前	鈴木英明（臨床検査学科）	総括

科目名 : 運動学演習 【保健2】
英語名称 : Exercises in Kinesiology
担当責任者 : 神先秀人
開講年次 : 2年前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 理学：必修 作業：選択

概要 : 運動学で学んだ知識を利用して姿勢や動作の具体的な観察・分析方法、および機器を用いた定量的な運動機能や動作の評価方法を学ぶ。臨床で理学療法・作業療法の対象となる疾患を想定した課題をグループで演習し、結果を考察することで理解を深める。

学習目標 : 1) 観察や種々の機器を用いた形態・関節運動、姿勢、筋力、バランス機能の評価方法を説明し、実施することができる。
2) 歩行の速度因子の測定、ビデオを用いた動作分析の評価方法を説明し、実施することができる。
3) 筋電図や三次元動作解析装置、床反力計を用いた動作分析の基本的な評価方法を説明することができる。
4) 測定結果をまとめ、考察を加えて発表することができる。

テキスト : 理学療法・作業療法テキスト 運動学実習 (石川朗、種村留美編集；中山書店)

参考書 : 月城慶一・他訳：観察による歩行分析，医学書院

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート40%、発表10%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4.14(金)	IV	駅前	神先	授業概要・実習課題の説明 レポートの書き方
2	4.14(金)	V	駅前	神先	下肢の形態と関節運動の観察と評価
3	4.21(金)	IV	駅前	神先	下肢の形態と関節運動の観察と評価
4	4.21(金)	V	駅前	神先	下肢の形態と関節運動の観察と評価
5	4.28(金)	IV	駅前	中野渡	上肢の形態と関節運動の観察と評価
6	4.28(金)	V	駅前	中野渡	上肢の形態と関節運動の観察と評価
7	5.12(金)	IV	駅前	中野渡	上肢の形態と関節運動の観察と評価
8	5.12(金)	V	駅前	遠藤	体幹の形態と関節運動の観察と評価
9	5.19(金)	IV	駅前	遠藤	体幹の形態と関節運動の観察と評価
10	5.19(金)	V	駅前	遠藤	体幹の形態と関節運動の観察と評価
11	5.26(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	重心・姿勢評価・静止バランス評価
12	5.26(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	重心・姿勢評価・静止バランス評価

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	6.2(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	重心・姿勢評価・静止バランス評価
14	6.2(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	筋力測定
15	6.9(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	筋力測定
16	6.9(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	筋力測定
17	6.16(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	筋活動計測
18	6.16(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	筋活動計測
19	6.23(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	筋活動計測
20	6.23(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	歩行速度測定
21	6.30(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	歩行速度測定
22	6.30(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	歩行速度測定
23	7.7(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	ビデオを用いた動作分析
24	7.7(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	ビデオを用いた動作分析

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7.14(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	ビデオを用いた動作分析
26	7.14(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	動作解析装置を用いた分析
27	7.21(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	動作解析装置を用いた分析
28	7.21(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	動作解析装置を用いた分析
29	7.28(金)	IV	駅前	神先・中野渡・遠藤	課題発表
30	7.28(金)	V	駅前	神先・中野渡・遠藤	課題発表

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 放射線医学概論
英語名称 : Introduction of Radiology
担当責任者 : 佐藤 久志
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 医療における放射線の役割はますます重要となっており、診断・治療においてなくてはならないものとなっている。そこで、本科目では放射線の医療利用の実際を学び、診療において活用できる基礎知識を学習する。具体的には、放射線医学の誕生から、放射線診断学、放射線治療学、核医学を概説し、放射線医学を学んでいく。主として放射線診断学について講義する。放射線等で作られる画像の意味するところを、画像解剖学をもとにして講義していく。

学習目標 : 1. 医療で用いる放射線の基礎と利用法を知る。
2. 画像診断法について知る。
3. 核医学について知る。
4. 放射線治療について知る。
5. 最新の放射線医学について知る。

テキスト : なし

参考書 :

成績評価方法 : レポート100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月27日	1	駅前	福田篤志（診療放射線科学科）	医療で用いる放射線，放射線物理学の基礎、放射線計測学の基礎 α 線、 β 線、 γ 線、X線、粒子線
2	10月4日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	放射線生物学の基礎
3	10月11日	1	駅前	久保均（診療放射線科学科）	種々の画像診断装置、 単純写真、断層写真、CT
4	10月18日	1	駅前	久保均（診療放射線科学科）	医療情報システムとその安全管理 MRI、PACS、DICOM、画像サーバー
5	10月25日	1	駅前	大葉隆（診療放射線科学科）	放射線障害、医療被ばく、法的規制、 自然被ばく、医療被ばく、福島県での放射線災害、RI規制法
6	11月1日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	中枢、頭頸部、四肢の画像診断、 正常解剖画像・疾病で得られる画像所見
7	11月8日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	腹部、骨盤、四肢の画像診断 、正常解剖画像・疾病で得られる 画像所見
8	11月15日	1	駅前	三輪建太（診療放射線科学科）	核医学の基礎、放射線同位元素、核医学診断装置、ガンマカメラを使用する核医学診断、ガリウムシンチ、骨シンチ、心筋シンチ、甲状腺シンチ、腎シンチ、肺血流シンチ、脳血流シンチ、出血シンチ、アジアロシンチ、MIBGシンチ、唾液腺シンチ、センチネルリンパ節シンチ
9	11月22日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	PETによる画像診断 FDG-PET、150ガス、11Cメチオニン、13Nアンモニア
10	11月29日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	核医学内用療法 131I内服、89Sr内用療法、223Ra内用療法、90Yゼバリン療法
11	12月6日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	放射線治療の基礎、放射線治療の種類と装置・ 方法、温熱療法、放射線生物学、分割照射、治療機器、治療方法、照射適応、温熱療法
12	12月13日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	中枢、頭頸部、胸部の放射線治療 神経腫瘍、上咽頭癌、中咽頭癌、下咽頭癌、喉頭癌、甲状腺癌、肺癌、乳癌、縦隔腫瘍

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月20日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	腹部、骨盤、四肢の放射線治療、放射線治療におけるペイシェント・ケア 消化器癌、骨盤内癌、軟部肉腫、姑息照射、治療患者の心身的サポート、有害事象に対するケア
14	12月27日	1	駅前	佐藤久志（診療放射線科学科）	最新の放射線治療 サイバーナイフ、トモセラピー、定位放射線治療、IMRT、VMAT、粒子線治療、BNCT
15	1月17日	1	駅前	久保均（診療放射線科学科）	最新の放射線医療 PET-MRI、新しい核医学治療野開発

科目名 : リハビリテーション医学 【保健2】
英語名称 : Rehabilitation Medicine
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : リハビリテーション医学の全体像や医学・医療における位置づけを理解し、リハビリテーション医学の理念、診断、および治療の基礎知識の習得を目指す。内容としては、医学的リハビリテーションの対象となる運動障害や感覚障害、循環機能障害、呼吸機能障害、摂食嚥下障害、排尿障害、高次脳機能障害について、また、小児疾患や精神疾患の症候や病態生理等を学習し、各種障害のリハビリテーション治療の基礎知識を習得する。さらに、リハビリテーション工学や地域リハビリテーションについて学び、リハビリテーション医学の理解を深める。

学習目標 : 1) リハビリテーション医学の位置づけと特質を説明できる。
2) 医学的リハビリテーションの代表的障害について、主な症候・所見、検査法の概略を説明できる。
3) 医学的リハビリテーションの代表的障害について、リハビリテーション治療の概略を説明できる。

テキスト : 中村隆一、監修 入門 リハビリテーション医学 第3版 医歯薬出版、2009

参考書 : 無し

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 : 各講義に必要な資料は、講義の際に配布します。
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月14日	7	駅前	大井直住 (長野保健医療大 学)	リハビリテーション医学総論 病気別のリハビリテーション
2	4月21日	7	駅前	大井直住 (長野保健医療大 学)	リハビリテーション診断、評価
3	4月27日	7	駅前	菅家智史 (地域・家庭医療 学講座)	地域包括ケアシステム、地域リハ ビリテーション、介護予防
4	5月11日	7	駅前	矢吹省司	運動機能障害のリハビリテーショ ン
5	5月19日	7	駅前	大井直住 (長野保健医療大 学)	神経障害のリハビリテーション
6	5月25日	7	駅前	義久精臣	循環機能障害のリハビリテーショ ン
7	6月1日	7	駅前	高橋仁美	呼吸機能障害のリハビリテーショ ン
8	6月8日	7	駅前	小川洋 (会津医療セン ター耳鼻咽喉科)	摂食嚥下障害のリハビリテーショ ン
9	6月15日	7	駅前	吉田美香子 (東北大学)	排尿障害のリハビリテーション
10	6月22日	7	駅前	林博史	高次脳機能障害のリハビリテー ション
11	6月29日	7	駅前	松尾洋平 (福島県総合療育 センター)	小児疾患のリハビリテーション
12	7月6日	7	駅前	林博史	精神疾患のリハビリテーション

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	7	駅前	安永好宏 (サイバーダイ ン株式会社)	リハビリテーション工学、治療機 器、ロボット
14	7月20日	7	駅前	矢吹省司	廃用症候群のリハビリテーション
15	7月28日	7	駅前	大井直住 (長野保健医療大 学)	社会参加、QOL向上のリハビリ テーション

科目名 : 整形外科学 【保健2】
英語名称 : Orthopaedic Surgery
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 2年 前期 2単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 理学療法士、作業療法士に必要な骨関節疾患・脊髄と末梢神経の疾患や外傷に関する基礎知識を理解する。具体的には股関節・膝関節・足関節・肩関節・肘関節・手関節・脊椎の主たる疾患について学ぶ。授業は講義を主体とするが、一部演習を行う。

学習目標 :
1. 筋骨格系の構造と機能を理解できる。
2. 筋骨格系に起因する運動障害・機能障害を理解できる。
3. 身体各部位または疾患別の筋骨格系障害・外傷を理解し、リハビリテーション診断、リハビリテーション治療との関連を理解できる。

テキスト : 『標準整形外科学』、中村利孝、松野丈夫（監修）、医学書院、2016

参考書 : 参考になる図書は講義の中で紹介します。

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 : 各講義に必要な資料は、講義の際に配布します。
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	2	駅前	矢吹省司	整形外科疾患とQOL
2	4月20日	2	駅前	矢吹省司	関節・脊椎の構造と機能
3	5月11日	2	駅前	矢吹省司	四肢と脊椎の診察
4	4月27日	2	駅前	二階堂琢也 (整形外科学講座)	脊椎・脊髄損傷
5	6月8日	2	駅前	川上亮一 (かわかみ整形外科)	骨・関節の外傷(上肢)
6	5月25日	2	駅前	吉田勝浩 (公立藤田総合病院)	骨・関節の外傷(下肢)
7	9月28日	6	駅前	箱崎道之 (整形外科学講座)	骨・軟部腫瘍(I) 良性腫瘍
8	9月28日	7	駅前	箱崎道之 (整形外科学講座)	骨・軟部腫瘍(II) 悪性腫瘍
9	6月15日	2	駅前	渡辺和之 (整形外科学講座)	脊椎・脊髄疾患(I) 頸椎・胸椎
10	6月22日	2	駅前	小林 洋 (整形外科学講座)	脊椎・脊髄疾患(II) 腰椎・骨盤
11	6月29日	2	駅前	沼崎広法 (スポーツ医学講座(兼担))	感染性骨関節疾患
12	7月6日	2	駅前	佐藤弘一郎 (南東北福島病院)	関節リウマチ

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月20日	2	駅前	山田仁 (整形外科学講座)	骨粗鬆症・代謝性疾患 (I) 総論と診断
14	7月21日	3	駅前	竹中信之 (総合南東北病院)	骨粗鬆症・代謝性疾患 (II) 治療
15	10月12日	6	駅前	大内一夫 (リハビリテーション医学講座)	足・足関節疾患 (I) 機能解剖、内反足、扁平足、外反母趾
16	10月12日	7	駅前	大内一夫 (リハビリテーション医学講座)	足・足関節疾患 (II) 変形性足関節症、Morton病、無腐性壊死
17	10月5日	2	駅前	山岸栄紀 (星総合病院 (兼任))	股関節疾患 (I) 機能解剖、成人股関節疾患の診断
18	10月12日	2	駅前	山岸栄紀 (星総合病院 (兼任))	股関節疾患 (II) 治療
19	10月19日	2	駅前	吉田勝浩 (公立藤田総合病院)	膝関節疾患 (I) 機能解剖、半月板・靭帯損傷
20	10月26日	2	駅前	小平俊介 (福島赤十字病院 (兼任))	膝関節疾患 (II) 変形性膝関節症、炎症性疾患
21	11月2日	4	駅前	猪狩貴弘 (いがりクリニック)	肩関節疾患
22	11月9日	4	駅前	猪狩貴弘 (いがりクリニック)	肘関節疾患
23	11月16日	2	駅前	佐々木信幸 (整形外科学講座)	手・手関節疾患 (I) 機能解剖、骨壊死、変形性手関節症
24	11月30日	2	駅前	佐々木信幸 (整形外科学講座)	手・手関節疾患 (II) 先天異常、末梢神経障害

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	12月7日	2	駅前	加賀孝弘 (スポーツ医学講座(兼担))	スポーツ傷害 (I) スポーツ外傷とスポーツ障害の診断
26	12月14日	2	駅前	加賀孝弘 (スポーツ医学講座(兼担))	スポーツ傷害 (II) スポーツ外傷とスポーツ障害の治療
27	1月18日	2	駅前	松尾洋平 (総合療育センター)	小児整形外科 (I) 先天性疾患
28	1月18日	4	駅前	松尾洋平 (総合療育センター)	小児整形外科 (II) ペルテス病、脳性麻痺
29	1月25日	2	駅前	矢吹省司	フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア (I) 病態・診断
30	2月1日	2	駅前	矢吹省司	フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニア (II) 治療・予防

科目名 : 内科学
英語名称 : Internal Medicine
担当責任者 : 小川一英
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 本科目は、理学療法士や作業療法士の臨床実践に必要な内科疾患の症候や診断、及び治療に関する基礎知識の習得を目指す。内容としては、内科学と内科的診断・治療、症候学、循環器疾患や呼吸器疾患、消化管疾患、肝胆膵疾患、血液・造血器疾患、代謝性疾患、内分泌疾患、腎・泌尿器疾患、免疫系疾患、アレルギー疾患、そして感染症などに関する成因と症状、及び診断や検査法、治療等を学び、内科疾患に関する医療について理解を深める。

学習目標 : 1) 内科疾患の基本的な症候、診断、および治療について理解する。
2) 呼吸器・循環器・消化器・内分泌等の代表的な疾患について理解する。

テキスト : 奈良 勲、鎌倉矩子 監修 内科学第3班 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野医学書院 2014

参考書 :

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	2	駅前	小川一英（臨床検査学科）	内科学とは 内科的診断と治療
2	4月18日	2	駅前	小川一英	症候学 発熱、全身倦怠感、食欲不振・食思不振、悪心・嘔吐
3	4月25日	2	駅前	小川一英	症候学 意識障害、めまい、浮腫・むくみ、レイノー現象、頭痛、ショック
4	5月15日	4	駅前	義久精臣（臨床検査学科）	循環器疾患の症候、診断法
5	5月22日	4	駅前	義久精臣	循環器疾患各論
6	5月16日	2	駅前	柴田陽光（医学部 呼吸器内科学講座）	呼吸器疾患の症候、診断法
7	5月23日	2	駅前	柴田陽光	呼吸器疾患各論
8	5月30日	2	駅前	鬼澤道夫（医学部 消化器内科学講座）	消化管疾患
9	6月6日	2	駅前	高木忠之（医学部 消化器内科学講座）	肝胆膵疾患
10	6月13日	2	駅前	小川一英	血液・造血器疾患
11	6月20日	2	駅前	島袋充生（医学部 糖尿病内分泌代謝 内科学講座）	代謝性疾患
12	6月27日		駅前	島袋充生	内分泌疾患

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月4日	2	駅前	風間順一郎・木村浩（医学部腎臓高血圧内科学講座）	腎疾患
14	7月11日	2	駅前	浅野智之（医学部リウマチ膠原病内科学講座）	免疫系疾患、アレルギー性疾患
15	7月18日	2	駅前	豊川真弘（臨床検査学科）	感染症

科目名 : 精神医学
英語名称 : Psychiatry
担当責任者 : 林 博史
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 本科目は、理学療法士や作業療法士の臨床実践に必要な精神疾患と医療、リハビリテーションおよび精神障害者福祉に関する基礎知識の習得を目指す。内容としては、統合失調症やうつ病、不安障害、パーソナリティ障害、アルコール性関連精神障害、発達障害、認知症などの各種疾患の成因と症状、および診断等に関して学び、精神障害に対する薬物療法やリハビリテーション、心理療法、さらには精神保健福祉や精神障害者の社会復帰を含めた精神医学・医療について理解を深める。

学習目標 : 1) 精神障害の症状、検査、診断、疾患分類について説明できる。
2) 精神医学に関する各疾患や障害の概念、疫学、成因、症状、診断について説明できる。
3) 治療薬物の種類と作用機序について説明できる。
4) 精神科医療の歴史的背景や社会制度、精神障害の治療と臨床心理学の関わりについて説明できる。
5) 精神障害者の社会復帰やリハビリテーションと精神保健福祉の関わりについて説明できる。

テキスト : ・上野武治編 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 精神医学第4版
医学書院

参考書 : ・尾崎紀夫他 編 標準精神医学 第8版 医学書院
・西丸四方、西丸甫夫 やさしい精神医学 南山堂
・大熊輝夫著 第12版改定委員会 現代臨床精神医学 金原出版

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4/12 (水)	2	駅前	林博史 (作業療法学科)	精神障害とその症状、診断法、国際分類
2	4/19 (水)	2	駅前	同上	統合失調症Ⅰ
3	4/26 (水)	2	駅前	同上	統合失調症Ⅱ
4	5/10 (水)	2	駅前	同上	うつ病、双極性障害
5	5/17 (水)	2	駅前	同上	不安症、解離症、身体症状症、強迫症
6	5/24 (水)	2	駅前	同上	パーソナリティ障害、性別違和、発達障害
7	5/31 (水)	2	駅前	同上	PTSD、摂食障害、睡眠障害
8	6/7 (水)	2	駅前	同上	物質関連障害および嗜癖性障害
9	6/14 (水)	2	駅前	同上	精神疾患の原因となる医学疾患および薬物
10	6/21 (水)	2	駅前	同上	認知症Ⅰ
11	6/28 (水)	2	駅前	同上	認知症Ⅱ
12	7/5 (水)	2	駅前	同上	向精神薬の種類と作用機序

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7/12 (水)	2	駅前	林博史	精神障害のリハビリテーションと関連法
14	7/19 (水)	2	駅前	同上	臨床心理学と精神障害の関わり、心理検査、精神療法
15	7/26 (水)	2	駅前	同上	予備・まとめ

科目名 : 脳・神経内科学
英語名称 : Neurology
担当責任者 : 林 博史
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 本科目は、理学療法士や作業療法士の臨床実践に必要となる脳・神経疾患に関する基礎知識の習得を目指す。内容としては、神経症候学の概要、脳血管障害や脳外傷、アルツハイマー病をはじめとした認知症、髄膜炎、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、ギランバレー症候群、重症筋無力症、多発性硬化症、てんかん等の各神経疾患の成因と症状、および診断や検査法、治療等を学び、脳・神経内科疾患に関する医療について理解を深める。

学習目標 : 1) 代表的な脳・神経内科疾患の原因、症状、治療が説明できる。
2) 神経学的診断法および補助診断法の概要が説明できる。

テキスト : ・川平和美編 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野「神経内科学」第5版 医学書院

参考書 : ・田崎義昭 他 ベッドサイドの神経の診かた 改訂第18版 南山堂
・平山恵造 臨床神経内科学 第5版 南山堂
・豊倉康夫 神経内科学書 第2版 朝倉書店

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4/14 (金)	6	駅前	金井数明 (医学部 脳神経内科学講 座)	神経症候学 (意識障害、高次脳機 能障害、運動障害の診方)
2	4/21 (金)	6	駅前	山本達也 (千葉県立保健 医療大学 リハビリテー ション学科作業療法学専 攻)	神経症候学 (脳神経障害、感覚障 害、自律神経障害の診方)
3	4/28 (金)	6	駅前	金井数明/山本達 也	画像診断、電気生理学的検査、生 検、自律神経機能検査
4	5/12 (金)	6	駅前	岩楯兼尚 (医学部 脳神経外科学講 座)	脳血管の解剖と生理、脳出血、脳 梗塞、くも膜下出血
5	5/19 (金)	6	駅前	林博史 (作業療法 学科)	Alzheimer病、Pick病、脳血管性認 知症
6	5/26 (金)	6	駅前	藤井正純 (医学部 脳神経外科学講 座)	脳外傷、脳腫瘍
7	6/2 (金)	6	駅前	井口正寛 (医学部 脳神経内科学講 座)	髄膜炎・脳炎の症候、髄液所見、 プリオン病、後天性免疫不全症候 群 (AIDS)
8	6/9 (金)	6	駅前	山本達也	Parkinson病、Parkinson症候群
9	6/16 (金)	6	駅前	金井数明	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、多 系統萎縮症 (MSA)、遺伝性脊髄 小脳萎縮症 (SCA)
10	6/23 (金)	6	駅前	金井数明	ギランバレー症候群、慢性炎症性 脱髄性多発ニューロパチー、遺伝 性ニューロパチー
11	6/30 (金)	6	駅前	金井数明	筋炎、筋ジストロフィー、代謝性 ミオパチー
12	7/7 (金)	6	駅前	山本達也	重症筋無力症、Lambert-Eaton筋 無力症候群

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7/14 (金)	6	駅前	藤原一男 (医学部 脳神経内科学講 座)	多発性硬化症、視神経脊髄炎、急性散在性脳脊髄炎、白質ジストロフィー
14	7/21 (金)	6	駅前	林博史	てんかん、非てんかん性けいれん、頭痛、中枢性めまい、末梢性めまい
15	7/28 (金)	6	駅前	松田希 (医学部脳 神経内科学講座)	先天性/後天性代謝異常、中毒による神経障害

科目名 : 老年学
英語名称 : Gerontology
担当責任者 : 林 博史
開講年次 : 2年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 理学療法士や作業療法士に必要な知識である加齢や老化現象について、医学、生物学、心理学、社会学など広い視点から理解する。内容として、生涯発達の一部としての老化を捉え、それに伴う生理機能、運動機能、精神機能について学修する。特徴的な老年期の疾病や障害として、嚥下障害、誤嚥性肺炎、循環障害、フレイル、サルコペニア、骨粗しょう症、骨折、認知症、うつ、せん妄などの老年期症候群についても教授する。高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の心理についても学び、老年期にある対象者の理解を深められるようにする。

学習目標 :
1) 老化の概念や高齢者の定義、人口動態を説明できる。
2) 老年期における生理機能、運動機能、精神機能面の変化と疾患・障害との関連を説明できる。
3) 高齢者の薬物療法を説明できる。
4) サクセスフルエイジングを説明できる。
5) 高齢者を取り巻く環境を説明できる。
6) 高齢者の状態に即したリハビリテーションについて説明できる。

テキスト : ・大内 尉（編）標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野「老年学」第5版 医学書院

参考書 : 特になし 配
布資料を参照

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9/25 (月)	4	駅前	林博史 (作業療法学科)	オリエンテーション、老年学とは、疫学、老年学の課題 (老化、老人問題)
2	10/2 (月)	4	駅前	岩佐一 (医学部公衆衛生学講座)	老化と生涯発達 (エリクソン、マズロー)、パーソナリティと適応
3	10/16 (月)	4	駅前	林博史	老化に伴う変化 (生理機能)
4	10/23 (月)	4	駅前	横塚美恵子 (理学療法学科)	老化に伴う変化 (運動機能)
5	10/30 (月)	4	駅前	林博史	老化に伴う変化 (精神機能)
6	11/6 (月)	4	駅前	菅野和広 (附属リハビリテーションセンター)	老年期の疾病と障害 (嚥下障害、誤嚥性肺炎)
7	11/13 (月)	4	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	老年期の疾病と障害 (循環器疾患)
8	11/20 (月)	4	駅前	矢吹省司 (理学療法学科)	老年期の疾病と障害 (フレイル、サルコペニア、骨粗しょう症、骨折)
9	11/27 (月)	4	駅前	林博史	老年期の疾病と障害 (認知症、うつ、せん妄)
10	12/4 (月)	4	駅前	石井重亮 (附属薬剤部)	高齢者の薬物療法 (ポリファーマシーなどの問題等)
11	12/11 (月)	4	駅前	川又寛徳 (作業療法学科)	高齢者の機能、活動面の評価
12	12/18 (月)	4	駅前	岩佐一	老化の社会学と理論 (老人観、エイジズム、活動理論、離脱理論、継続理論等)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12/25 (月)	4	駅前	佐藤伸哉 (附属医療連携相談室)	家族・社会関係 (ソーシャルサポート、ネットワーク)
14	1/15 (月)	4	駅前	岩佐一	幸福感、生きがい、サクセスフルエイジング
15	1/22 (月)	4	駅前	横塚美恵子	老年期のリハビリテーション、終末期医療

科目名 : 小児科学
英語名称 : Pediatrics
担当責任者 : 林 博史
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 本科目は、理学療法士や作業療法士の臨床実践に必要な小児疾患に関する基礎知識の習得を目指す。内容としては、小児の発達と保健、新生児医療、各小児疾患（先天異常、脳性麻痺、てんかん、循環器疾患、呼吸器疾患、感染症、内分泌・泌尿器疾患、血液疾患、腫瘍性疾患、免疫疾患、アレルギー性疾患、自閉症、注意欠如多動性障害、学習障害等）の成因と症状、および診断や検査法、治療等を学び、小児疾患に関する医療と子どもの療育について理解を深める。

学習目標 : 1) 小児期の正常発達の概略を説明することができる。
2) 新生児に関する医学的知識を身につけ、周産期の異常について説明することができる。
3) 各年代での代表的な小児疾患を挙げ、典型的な臨床症状や診断と治療の基礎について説明することができる。

テキスト : ・富田豊 標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野「小児科学」 第5版
医学書院

参考書 : ・鴨下重彦 ベッドサイドの小児神経・発達の診かた 改訂第3版 南山堂
・森下昭廣他 標準小児科学 第6版 医学書院

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4/21 (金)	3	駅前	細矢光亮 (医学部 小児科学講座)	小児の成長発育と発達、小児の保健
2	4/25 (火)	1	駅前	佐藤真紀 (附属総合周産期母子医療センター)	新生児の評価、未熟児の神経学的所見、周産期の異常症状
3	4/28 (金)	3	駅前	細矢光亮 (医学部 小児科学講座)	小児に特有な一般的身体所見と症候
4	5/2 (火)	1	駅前	郷勇人 (附属総合周産期母子医療センター)	先天異常、染色体異常、遺伝性疾患
5	5/12 (金)	3	駅前	鈴木雄一 (医学部 小児科学講座)	小児に特有な神経症候、神経学的検査法
6	5/16 (火)	1	駅前	松尾洋平 (福島県総合療育センター)	脳性麻痺の成因と徴候による分類、治療、療育
7	5/23 (火)	1	駅前	林博史 (作業療法学科)	てんかん、熱性けいれん
8	5/30 (火)	1	駅前	桃井伸緒 (附属総合周産期母子医療センター)	循環器疾患
9	6/6 (火)	1	駅前	橋本浩一 (医学部 小児科学講座)	呼吸器疾患
10	6/16 (金)	3	駅前	佐藤晶論 (医学部 小児科学講座)	感染症
11	6/20 (火)	1	駅前	小野敦史 (医学部 小児科学講座)	内分泌・泌尿器疾患
12	6/27 (火)	1	駅前	望月一弘 (附属小児腫瘍内科)	血液疾患、腫瘍性疾患

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7/4 (火)	1	駅前	橋本浩一 (医学部 小児科学講座)	免疫、アレルギー疾患
14	7/11 (火)	1	駅前	林博史 (作業療法 学科)	自閉症、注意欠如多動性障害、学 習障害
15	7/18 (火)	1	駅前	渡部真裕 (医学部 小児科学講座)	集中治療

科目名 : リハビリテーション栄養学 【保健2】
英語名称 :
担当責任者 : 神先秀人
開講年次 : 2年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : リハビリテーションにおける運動機能の回復には、その基礎となる良好な栄養状態が重要である。本科目では理学療法や作業療法に必要な栄養学基礎知識、評価方法および栄養療法について教授する。

学習目標 : 1) リハビリテーションにおける栄養の重要性について説明できる。
2) 栄養の基礎知識を説明できる。
3) リハビリテーション栄養に必要な評価手段を説明できる。
4) リハビリテーション栄養の治療手段を説明できる。
5) 主要なリハビリテーション対象疾患の栄養管理を説明できる。

テキスト : 栢下淳、若林秀隆編著：リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎第2版 医歯薬出版

参考書 :

成績評価方法 : 筆記試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9.28(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	リハビリテーションと栄養の関係 (フレイル・サルコペニア含む)
2	10.5(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	栄養の基礎知識 1 栄養素とその働き
3	10.12(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	栄養の基礎知識 2 栄養補給ルートと食事の種類
4	10.19(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	栄養の基礎知識 3 消化と吸収
5	10.26(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	栄養評価 1 栄養評価項目と栄養評価方法 模擬事例栄養評価
6	11.2(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	栄養評価 2 身体計測の実際 栄養フィジカルアセスメント
7	11.9(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	栄養評価 3 高齢者の栄養アセスメント 模擬事例栄養評価
8	11.16(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	リハビリテーション栄養プラン 必要栄養量の算出方法 模擬事例栄養プラン
9	11.30(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	栄養サポートチーム 栄養サポートチームの役割と 各職種の役割
10	12.7(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	主な疾患とリハビリテーション栄養 養 1：脳卒中 「模擬事例検討」
11	12.14(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	主な疾患とリハビリテーション栄養 養 2：大腿骨近位部骨折 「模擬事例検討」
12	12.21(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	主な疾患とリハビリテーション栄養 養 3：がん 「模擬事例検討」

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1.18(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	主な疾患とリハビリテーション栄 養4：褥瘡 「模擬事例検討」
14	1.25(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	主な疾患とリハビリテーション栄 養5：摂食嚥下障害 「模擬事例検討」
15	2.1(木)	Ⅲ	駅前	田村佳奈美	主な疾患とリハビリテーション栄 養6：慢性心不全 「模擬事例検討」

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 薬理学
英語名称 : Pharmacology
担当責任者 : 下村健寿 (病態制御薬理医学講座)
開講年次 : 2年 前期 2単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 薬理学は、薬物と生体の相互作用を探求する学問である。薬の作用を理解するためには、細胞内外の情報伝達の仕組みや、病気が発症することで情報伝達がどのような破綻をきたすのかを知る必要がある。そして薬物の理解とは、病気の原因となる異常に対し薬物がどのように作用するのかを理解する学問である。本講義では、薬物の作用機序を理解するために、その基礎的事項を学び、さらに細胞内外情報伝達物質と薬物との相互作用を理解し、薬物の臨床展開と治療効果について学ぶ。

学習目標 : 1. 医療専門職として基本的な薬の知識を身に着ける。
2. 薬理作用を通じ、生命現象の根幹をなす分子機構の理解を行う。
3. 薬理学の概要について説明できる。
4. 薬の分類、作用機序と副作用における概要を説明できること。

テキスト : シンプル薬理学 南江堂 野村隆英・石川直久 (編) 2014年

参考書 : NEW薬理学 南江堂 田中千賀子・加藤隆一・成宮周 (編) 2017年

成績評価方法 : 定期試験80%、小テスト20%

その他 : 薬理学は、生体と化学物質 (薬) との相互作用を学ぶ。その理解のためにはメッセージ等 化学および生理学・病理学などの知識が必須である。基盤となる知識を身に付け、さらに薬理学の理解を促進してほしい。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	4	駅前	下村健寿（病態制御薬理医学講座）	薬物とは何か、薬理作用と作用機序、作用と投与量の関係、薬と法律、処方
2	4月20日	4	駅前	西嶋剣一（先端臨床研究センター）	薬の生体内運命、薬物の吸収・分布・代謝・排泄
3	4月27日	4	駅前	西嶋剣一（先端臨床研究センター）	薬物動態学、薬物相互作用、薬物治療に影響を与える因子
4	5月11日	4	駅前	西嶋剣一（先端臨床研究センター）	個別化医療、薬物送達システム、薬物の開発
5	5月18日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	副交感神経系に作用する薬物
6	5月25日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	交感神経系に作用する薬物、筋弛緩薬、局所麻酔薬
7	6月1日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬、抗精神病薬
8	6月8日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬、抗認知症薬、麻薬性鎮痛薬
9	6月15日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	狭心症治療薬、心不全治療薬、抗不整脈薬、降圧薬
10	6月22日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	利尿薬、脂質異常症治療薬、血液・造血管系作用薬
11	6月29日	4	駅前	下村健寿（病態制御薬理医学講座）	内分泌・代謝作用薬、治療薬としてのビタミン、消化器作用薬
12	7月6日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	非ステロイド抗炎症薬、ステロイド性抗炎症薬、抗リウマチ薬

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	抗アレルギー薬、免疫抑制薬
14	7月20日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、消毒薬
15	7月27日	4	駅前	尾形浩（病態制御薬理医学講座）	抗腫瘍薬、分子標的治療薬

科目名 : 危機管理学
英語名称 : Crisis Management
担当責任者 : 小川一英
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 前半は、身の回りにある様々な危機の種類、組織ガバナンスや医療安全を例にしてリスクマネジメントについての基本的な考え方を学習する。また患者と医療者の間で意見の食い違いから生じる紛争に対する解決法としての医療メディエーションの役割についても学ぶ。後半は、福島で起きた大規模複合災害を始め世界で起きた様々な災害について知り、必要な医療、福祉、保健などに対する医療者の役割と各種連携の実際について学習する。また災害が人々に与えるメンタルヘルスや、社会、地域住民とのリスクコミュニケーション、さらに日本、海外における災害時の危機管理体制や医療の役

学習目標 : 1. 危機の種類について説明できる。
2. 組織における内部統制について理解し、リスク管理について説明できる。
3. 医療安全について危機管理の点から説明できる。
4. 災害におけるリスクコミュニケーション、メンタルヘルスについて説明できる。
5. トリアージについて理解し、様々な災害と医療の役割について説明できる。
6. 自然災害に対する国際協力の現状について理解できる。

テキスト : 特に指定しない

参考書 : 1. 林 春男他 組織の危機管理入門ーリスクにどう立ち向えばいいのか (京大人気講義シリーズ) 丸善出版ー
2. 藤岡 達也 : 絵でわかる日本列島の地震・噴火・異常気象 (KS絵でわかるシリーズ)、講談社
3. 鈴木 康弘 : 防災・減災につなげる ハザードマップの活かし方 単行本 (ソフトカバー)、岩波書店

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	5	駅前	三村邦裕（千葉科学大学）/ 小川一英（保健科学部）	オリエンテーション・危機管理学 総論
2	4月10日	6	駅前	三村邦裕（千葉科学大学）	危機管理とリスクマネジメント
3	4月10日	7	駅前	木村栄宏（千葉科学大学）	組織における危機管理・内部統制
4	4月17日	5	駅前	木村栄宏（千葉科学大学）	リスクへの対応（ケーススタ ディ）
5	4月17日	6	駅前	木村栄宏（千葉科学大学）	メディエーション・医療ADR・リ スクガバナンス
6	4月17日	7	駅前	藤本一雄（千葉科学大学）	自然災害の発生メカニズム
7	4月24日	5	駅前	藤本一雄（千葉科学大学）	自然災害のハザード・リスク評価
8	4月24日	6	駅前	藤本一雄（千葉科学大学）	自然災害対策について
9	4月24日	7	駅前	大葉 隆（診療放射線科学科）	東日本大震災と福島第一原発事故 における危機管理
10	5月1日	5	駅前	長谷川有史（医学部放射線災害医療学講座）	放射線災害における医療者の役割
11	5月1日	6	駅前	種田憲一郎（国立保健医療科学院）	医療安全と危機管理（ヒューマン エラー）
12	5月1日	7	駅前	種田憲一郎（国立保健医療科学院）	医療安全と危機管理（リスクマ ネージメント）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月8日	5	駅前	前田正治（医学部 災害こころの医学 講座）	災害と危機介入
14	5月8日	6	駅前	佐藤千歳（岡崎市 保健所）	災害医療とトリアージ
15	5月8日	7	駅前	佐藤千歳（岡崎市 保健所）	自然災害に対する国際協力

科目名 : 医用工学実験
英語名称 : Laboratory in Medical Engineering
担当責任者 : 久保 均
開講年次 : 2年 前期 2単位 授業形態 : 実験
必修・選択 : 必修：診療放射線科学科、臨床検査学科、選択：理学療法学科、作業療法学科

概要 : 現在の高度化された医療機器には、様々な電気・電子回路が使われている。それら機器を正しく使用するためには、原理や仕組みに関する基本をしっかりと理解しておく必要がある。本実験では、医用工学の講義で学んだ電気・電子工学に関する基礎知識を、実験を行うことで体得する。具体的には、電子回路基礎実験、アナログ回路実験、半導体回路実験、デジタル技術実験、パルス回路実験、AD/DA変換実験を行う。また、センサー付き二足歩行ロボット製作とプログラミングを行うことで、センサーの働きを体感すると共にその応用法を実践する。

学習目標 :
・電気・電子デバイスの特性を理解し体得する。
・電気・電子回路の構成と動作原理を理解し体得する。
・センサー技術の応用法を体得し実践する。

テキスト : 実験手引書

参考書 : なし

成績評価方法 : レポート 100%

その他 : なし
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1-3	5月15日	5-7	駅前	山口克彦（福島大学共生システム理工学類）	電子回路基礎実験
4-6	5月22日	5-7	駅前	西山篤	アナログ回路実験
7-9	5月29日	5-7	駅前	田中明（福島大学共生システム理工学類）	半導体回路実験
10-12	6月5日	5-7	駅前	山田昭博（公立小松大学）	デジタル技術実験
13-15	6月12日	5-7	駅前	鈴木健司（福島県ハイテクプラザ）	パルス回路実験
16-18	6月19日	5-7	駅前	久保均（診療放射線科学科）	AD/DA変換実験
19-21	6月26日	5-7	駅前	久保均（診療放射線科学科）、西山篤・田中明（福島大学共生システム理工学類）・山口克彦（福島大学共生システム理工学類）・山田昭博（公立小松大学）・鈴木健司（福島県ハイテクプラザ）	ロボット組み立て（1）組み立て

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
22-24	7月3日	5-7	駅前	同上	ロボット組み立て (2) 回路調整
25-27	7月10日	5-7	駅前	同上	ロボット組み立て (3) コントロール法の習得
28-30	7月24日	5-7	駅前	同上	ロボット組み立て (4) 製作ロボット動作発表会

科目名 : 医療統計学
英語名称 : Medical statistics
担当責任者 : 柴田 恭子
開講年次 : 2年 後期 2単位 **授業形態** : 講義
必修・選択 : 必修 (理学・作業・放射・臨床検査)

概要 : 人を対象として、病気に対する治療効果を評価し、病気の原因を解明することを目的として行われる研究が臨床研究である。臨床研究で用いられる統計的な考え方や解析方法を理解し、結果を過大評価することなく正確な判断ができるようになる必要がある。

この授業では、講義「統計学」の内容を踏まえて、臨床研究のデザインと結果をどう解釈するか、基本的な考え方を身に付ける。統計ソフト R のパッケージの一つである「R コマンドー」をベースに開発された「EZR」を使って、実践的なデータ解析手法を身に付ける。授業では学生個人のノートパソコンを使用する。

学習目標 : (1) 疫学研究デザインについて説明ができる。
(2) 必要なサンプルサイズを調べることができる。
(3) 介入効果を評価することができる。
(4) 薬の用量と効き目の関係の解析方法について説明ができる。
(5) 相関関係の解釈の考え方について説明できる。
(6) 生存時間データの解析方法について説明ができる。

テキスト : 資料を配布する。

参考書 :

成績評価方法 : 平常点 45%、期末試験 55%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等：

回	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	記述統計量
2	10月5日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	仮説検定・研究のデザイン(1)
3	10月12日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	研究のデザイン(2)
4	10月19日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	検定法の選び方
5	10月26日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	スチューデントのt検定 マンホイットニーのU検定
6	11月2日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	対応のあるt検定 ウィルコクソンの符号付順位和 検定
7	11月9日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	検定の多重性 分散分析 クラスカルワリス検定
8	11月16日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	線形回帰 相関係数
9	11月30日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	リスク比・レート比 オッズ比
10	12月7日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	感度・特異度・ROC 図
11	12月14日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	生存率解析・ Kaplan-Meier 図 (1)
12	12月21日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	生存率解析・ Kaplan-Meier 図 (2)
13	1月18日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	症例数の計算(1)
14	1月25日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	症例数の計算(2)
15	2月1日 (木)	1	講義室1/ 駅前キャンパス	柴田恭子	期末試験対策

科目名 : 身体障害作業療法評価学演習
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy Assessment for Physical Disabilities
担当責任者 : 藤田貴昭
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必修

概要 : 身体障害領域の作業療法評価で用いる、主に身体機能に関する検査の実施方法を理解し、その技術を習得することを目指す。内容としては、身体機能評価として形態計測、関節可動域検査、筋力検査、知覚検査、反射検査、姿勢反射検査、筋緊張検査、協調性検査、脳神経検査、摂食嚥下機能検査、及び上肢機能検査等の各検査法の目的と対象、実施方法を学び、検査技術や対象者へ適応する際の基本的な留意点について、学生間の演習や実習を通して学ぶ。

学習目標 : 1) 身体機能に関する作業療法評価の各検査法について、検査目的、方法、留意事項を理解し、説明できる。
2) 身体機能に関する作業療法評価の各検査法を学生間で適切に実施できる。
3) 各検査方法に関する疑問を教員に質問することができる。

テキスト : 能登真一、山口昇、他編 作業療法評価学第3版 標準作業療法学 医学書院
Helen J Hislop、Dale Avers、Marybeth Brown 著 津山直一、中村耕三 訳 新・徒手筋力検査法、原著第9版 協同医書出版

参考書 : 田崎義昭、他著 ベッドサイドの神経の診かた 第18版 南山堂

成績評価方法 : 定期試験70%、小テスト30%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	1	駅前	藤田貴昭（作業療法学科）	身体障害作業療法評価総論
2	4月10日	2	駅前	藤田貴昭、浅尾章彦、木村夏実、三橋佑平	形態計測
3	4月17日	1	駅前	同上	関節可動域検査法（ROM）、ROM測定（上肢）
4	4月17日	2	駅前	同上	ROM測定(上肢)
5	4月24日	1	駅前	同上	ROM測定(上肢)
6	4月24日	2	駅前	同上	ROM測定（手指）
7	5月1日	1	駅前	同上	ROM測定（手指）
8	5月1日	2	駅前	同上	ROM測定(下肢、体幹)
9	5月8日	1	駅前	同上	徒手筋力検査法（MMT） MMT測定（上肢）
10	5月8日	2	駅前	同上	MMT測定(上肢)
11	5月15日	1	駅前	同上	MMT測定(上肢)
12	5月15日	2	駅前	同上	MMT測定(手指)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月22日	1	駅前	同上	MMT測定(手指)
14	5月22日	2	駅前	同上	握力、ピンチ力測定
15	5月29日	1	駅前	同上	MMT測定(下肢、体幹)
16	5月29日	2	駅前	同上	知覚検査、測定 表在覚
17	6月5日	1	駅前	同上	知覚検査、測定 深部覚
18	6月5日	2	駅前	同上	反射検査
19	6月12日	1	駅前	同上	姿勢反射検査
20	6月12日	2	駅前	同上	筋緊張検査
21	6月19日	1	駅前	同上	筋緊張検査(筋電図)
22	6月19日	2	駅前	同上	協調性検査
23	6月26日	1	駅前	同上	呼吸機能検査
24	6月26日	2	駅前	同上	循環機能検査

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月3日	1	駅前	同上	脳神経検査（視覚・聴覚・嗅覚・味覚）
26	7月3日	2	駅前	同上	脳神経検査
27	7月10日	1	駅前	同上	摂食嚥下機能検査
28	7月10日	2	駅前	同上	上肢機能検査
29	7月24日	1	駅前	同上	上肢機能検査
30	7月24日	2	駅前	同上	上肢機能検査

科目名 : 精神障害作業療法評価学演習
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Mental Disabilities
担当責任者 : 石川 陽子
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必修

概要 : 精神障害領域の作業療法評価の視点と実践方法を理解し、その技術を習得することを目指す。内容としては、面接法、行動観察、各精神疾患・障害に応じた精神・心理機能検査や作業評価等の検査測定法について、目的と評価対象、手順、実施方法を学び、対象者へ適応する際の基本的な留意点について、学生間の演習や実習を通して実践的に学ぶ。さらに、評価によって得た結果や情報を統合する過程を経験し、対象者の症状理解へと結びつける。

学習目標 : 1) ICFに基づいて精神障害領域の対象者を評価する手順と視点を理解している。
2) 精神疾患特性に合わせた評価方法を理解し、模擬的に遂行することができる。
3) 作業療法評価結果をICFに分類し、対象者の生活課題を相互関係で説明することができる。
4) 自分の学習状態を理解し、担当教員に連絡・報告・相談することができる。

テキスト : 作業療法学全書 作業治療学2「精神障害」 協同医書出版社

参考書 : 標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法 第3版 医学書院

成績評価方法 : 定期試験50% レポート50%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1~ 2	4月14日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	評価の目的と順序（トップダウンとボトムアップ，事例を用いた理解）
3~ 4	4月21日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	情報収集の対象と手順（一般情報，医学的情報）
5~ 6	4月28日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	面接の対象と方法（特徴，種類：個別，作業，構造的，半構造的，場の構造，展開，疾患特性への適応）
7~ 8	5月12日	1・2	駅前	石川陽子，小笠原牧（作業療法学科）	面接演習
9~ 10	5月19日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	観察の対象と方法（自然観察法，実験的観察法，視点，記録）
11 ~ 12	5月26日	1・2	駅前	石川陽子，小笠原牧（作業療法学科）	観察演習
13 ~ 14	6月2日	1・2	駅前	石川陽子，小笠原牧（作業療法学科）	検査・測定の対象と方法 検査・測定演習
15 ~ 16	6月9日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	統合失調症の評価 評価演習
17 ~ 18	6月16日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	気分（感情）障害の評価 評価演習
19 ~ 20	6月23日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	神経症性障害の評価 評価演習
21 ~ 22	6月30日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	摂食障害・パーソナリティ障害の評価 評価演習
23 ~ 24	7月7日	1・2	駅前	石川陽子（作業療法学科）	てんかん・物質依存の評価 評価演習

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25 ~ 26	7月14日	1・2	駅前	石川陽子, 小笠原 牧(作業療法学 科)	症例理解: 統合失調症(陽性症 状) 演習(ICF分類と解釈) 演習発表
27 ~ 28	7月21日	1・2	駅前	石川陽子, 小笠原 牧(作業療法学 科)	症例理解: 統合失調症(陰性症 状) 演習(ICF分類と解釈) 演習発表
29 ~ 30	7月28日	1・2	駅前	石川陽子, 小笠原 牧(作業療法学 科)	症例理解: 気分(感情障害) (ICF分類と解釈) 演習発表

科目名 : 発達障害作業療法評価学演習
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy Assessment for Developmental Disabiliti
担当責任者 : 倉澤茂樹
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必須

概要 : 小児疾患や発達過程の障害に対する作業療法評価・検査の実施方法を理解し、その技術を習得することを目指す。内容としては、発達検査や運動機能評価、感覚統合機能の評価、視知覚・視覚認知の評価、及び行動評価について、その目的と対象、実施方法等を学び、検査技術や対象者へ適応する際の基本的な留意点やライフステージに応じた作業療法評価の解釈の方法について、演習や実習を通じて学ぶ。さらに、対象児家族への面接法についても学び、対象児の家族を含めた作業療法評価の視点を学ぶ。

学習目標 : 1) 発達過程の作業療法評価の全体的な流れについて説明することができる。
2) 発達過程の作業療法で活用される評価の特徴と方法を列挙することができる。
3) 発達過程の作業療法評価の導入から結果の解釈・説明まで、適切に実施することができる。

テキスト : 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院 能登真一他
編集
イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社 辛島千恵子
編集

参考書 : 人間発達とライフサイクル 理工図書 辛島千恵子 編著
標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第6版 医学書院 前垣義弘 編著

成績評価方法 : 成績評価方法：定期試験70%、小テスト30%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1~ 2	4月11日	4, 5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	正常発達の知識と臨床への応用 反射・反応の発達 (脊髄・脳幹レベル)
3~ 4	4月18日	4, 5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	正常発達の知識と臨床への応用 反射・反応の発達 (中脳・大脳レベル)
5~ 6	4月25日	4, 5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	正常発達の知識と作業療法評価 高次脳機能 (前頭葉)
7~ 8	5月2日	4, 5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	正常発達の知識と作業療法評価 高次脳機能 (頭頂葉・後頭葉)
9~ 10	5月9日	4, 5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	正常発達の知識と作業療法評価 高次脳機能 (側頭葉・辺縁葉)
11 ~ 12	5月16日	4, 5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	正常発達の知識と作業療法評価 脳神経 (I~VI)
13 ~ 14	5月23日	4, 5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	正常発達の知識と作業療法評価 脳神経 (VII~XII)
15 ~ 16	5月30日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	発達検査 発達全般を評価する検査 (遠城寺式、DENVER II)
17 ~ 18	6月6日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	発達検査 発達全般を評価する検査 (新版K式、KIDS)
19 ~ 20	6月13日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	発達検査 発達全般を評価する検査 (新版K式、KIDS)
21 ~ 22	6月20日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	発達検査 視知覚・視覚認知の評価 視知覚・視覚認知とは
23 ~ 24	6月27日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	運動機能の評価 姿勢反射・反応 (マイルストーンの評価)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25 ~ 26	7月4日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	運動機能の評価 姿勢反射・反応 (M-ABC2)
27 ~ 28	7月11日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	感覚統合療法 臨床観察法
29 ~ 30	7月25日	4, 5	駅前	田中善信 (作業療法学科)	感覚統合療法 (JMAP)

科目名 : 身体障害作業療法学
英語名称 : Occupational Therapy for Physical Disabilities
担当責任者 : 五百川和明
開講年次 : 2年 後期 2単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 身体障害領域における作業療法の目的、治療および援助法について、作業療法のエビデンスや臨床実践で活用されている理論や介入方法を学び、身体障害作業療法の科学的知見や実践応用に関する知識の習得を目指す。内容としては、身体障害作業療法の治療原理、実践過程、病期に応じた介入、各疾患・障害別（脳血管障害、脳外傷、脊髄損傷、神経変性疾患、末梢神経損傷、神経・筋疾患、呼吸機能障害、循環機能障害等）の作業療法について学ぶ。

学習目標 : 1. 身体障害作業療法の治療理論、治療目的、治療方法等について説明できる。
2. 身体障害作業療法の基礎的治療技術を理解し説明できる。
3. 身体障害作業療法の代表的疾患の病態を理解し、説明できる。
4. 各疾患別作業療法における評価法を理解し、各評価項目を列挙し説明できる。
5. 各疾患別作業療法における介入法の基本的な作業療法目標と作業療法プログラムを理解し、説明できる。

テキスト : ・山口昇、玉垣努、他編：身体機能作業療法学第4版，標準作業療法学，医学書院

参考書 : ・なし（配布資料）

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月25日	2	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	身体障害作業療法の治療目的、治療法
2	9月25日	3	福島駅前キャンパス	同上	身体障害作業療法学の枠組み、治療過程、治療理論
3	10月2日	2	福島駅前キャンパス	藤田 貴昭 (作業療法学科)	ボディメカニクス
4	10月2日	3	福島駅前キャンパス	同上	運動制御理論と運動学習
5	10月16日	2	福島駅前キャンパス	同上	身体障害作業療法の基礎 リスク管理、ROM訓練、筋力訓練
6	10月16日	3	福島駅前キャンパス	同上	身体障害作業療法の基礎 筋緊張、不随意運動、協調運動
7	10月23日	2	福島駅前キャンパス	同上	身体障害作業療法の基礎 感覚・知覚再教育
8	10月23日	3	福島駅前キャンパス	同上	身体障害作業療法の基礎 廃用症候群
9	10月30日	2	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	脳血管障害、脳外傷の作業療法 (治療法)
10	10月30日	3	福島駅前キャンパス	同上	脳血管障害、脳外傷の作業療法 (エビデンス)
11	11月6日	2	福島駅前キャンパス	藤田 貴昭 (作業療法学科)	物理療法の基礎 温熱療法、電気療法
12	11月6日	3	福島駅前キャンパス	同上	脳血管障害の作業療法 (治療技術各論)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	11月13日	2	福島駅前キャンパス	同上	脳外傷の作業療法 (治療技術各論)
14	11月13日	3	福島駅前キャンパス	同上	脳血管障害、脳外傷の作業療法 (先端的治療技術)
15	11月20日	2	福島駅前キャンパス	同上	脊髄損傷、頸髄損傷の作業療法 (治療法)
16	11月20日	3	福島駅前キャンパス	同上	脊髄損傷、頸髄損傷の作業療法 (エビデンス)
17	11月27日	2	福島駅前キャンパス	同上	脊髄損傷、頸髄損傷の作業療法 (治療技術各論)
18	11月27日	3	福島駅前キャンパス	同上	上肢の末梢神経損傷の作業療法 (正中神経麻痺、尺骨神経麻痺)
19	12月4日	2	福島駅前キャンパス	同上	上肢の末梢神経損傷の作業療法 (橈骨神経麻痺)
20	12月4日	3	福島駅前キャンパス	同上	上肢の末梢神経損傷の作業療法 (腕神経叢損傷)
21	12月11日	2	福島駅前キャンパス	川崎 伊織 (作業療法学科)	神経筋疾患の作業療法 (多発性硬化症)
22	12月11日	3	福島駅前キャンパス	同上	神経筋疾患の作業療法 (ギランバレー症候群、重症筋無力症)
23	12月18日	2	福島駅前キャンパス	同上	神経変性疾患の作業療法 (パーキンソン病)
24	12月18日	3	福島駅前キャンパス	同上	神経変性疾患の作業療法 (脊髄小脳変性症)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	12月25日	2	福島駅前キャンパス	同上	神経変性疾患の作業療法 (筋萎縮性側索硬化症)
26	12月25日	3	福島駅前キャンパス	同上	全身性エリテマトーデス、多発性筋 炎、皮膚筋炎の作業療法
27	1月15日	2	福島駅前キャンパス	藤田 貴昭 (作業療法学科)	呼吸機能障害の作業療法 (治療法とエ ビデンス)
28	1月15日	3	福島駅前キャンパス	同上	呼吸機能障害の作業療法 (治療技術各 論)
29	1月22日	2	福島駅前キャンパス	同上	循環機能障害の作業療法 (治療法とエ ビデンス)
30	1月22日	3	福島駅前キャンパス	同上	循環機能障害の作業療法 (治療技術各 論)

科目名 : 身体障害作業療法学演習Ⅰ
英語名称 : Exercises in Occupational Therapy for Physical Disabilities Ⅰ
担当責任者 : 藤田貴昭
開講年次 : 2年 後期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必修

概要 : 身体障害領域における骨・関節疾患や腱損傷、切断の作業療法と義肢・装具の活用法について、その基本的知識と技術の習得を目指す。内容としては、骨関節疾患（上腕骨折、前腕骨折、下肢骨折、脊椎骨折、変形性関節症）、関節リウマチ、腱損傷、切断等に対する作業療法介入と義肢の適合・チェックアウト、手外科疾患に対するハンドセラピーについて学ぶ。さらに上肢装具（スプリント）の作成実習を通して、装具の使用目的や疾患への適用の理解を深める。

学習目標 : 1) 骨・関節疾患や腱損傷、切断の作業療法の治療理論、治療目的、治療方法等について説明できる。
2) 義肢装具が適応となる疾患や障害について説明することができる。
3) 義肢の適用やチェックアウト、装具作成に必要な基本技術と道具の管理方法を説明することができる。

テキスト : 古川宏 編集 作業療法学全書第9巻 義肢装具学 作業療法技術学1 共同医書出版社

参考書 : 佐伯 覚 編集 PTOTST 標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学別巻 義肢装具学 医学書院

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート50%

その他 : 実習時には作業に適した服装を着用する。
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月22日	1	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	骨関節疾患の作業療法 上腕骨折
2	9月22日	2	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	骨関節疾患の作業療法 上腕骨折
3	9月22日	3	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	骨関節疾患の作業療法 前腕骨折
4	9月29日	1	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	骨関節疾患の作業療法 前腕骨折
5	9月29日	2	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	骨関節疾患の作業療法 下肢骨折、加齢性関節疾患（肩関節周囲炎、変形性関節症）
6	9月29日	3	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	骨関節疾患の作業療法 脊椎骨折、腰痛
7	10月6日	1	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	関節リウマチの作業療法 疾患、障害
8	10月6日	2	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	関節リウマチの作業療法 評価、介入
9	10月6日	3	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	腱損傷の作業療法 疾患、障害
10	10月13日	1	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	腱損傷の作業療法 機能解剖、評価
11	10月13日	2	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	熱傷の作業療法
12	10月13日	3	駅前	藤田貴昭 (作業療法学科)	切断の作業療法 切断・断端の処置（講義）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	10月20日	1	駅前	阿部真典（東北補装具製作所）	義肢概論（講義） 義手・足の種類、使用目的、使用方法（講義・演習）
14	10月20日	2	駅前	阿部真典（東北補装具製作所）	義手の適合・チェックアウト・使用訓練（演習）
15	10月20日	3	駅前	阿部真典（東北補装具製作所）	義手の適合・チェックアウト・使用訓練（演習）
16	10月27日	1	駅前	阿部真典（東北補装具製作所）	上肢装具の種類、使用目的、使用方法（講義・演習）
17	10月27日	2	駅前	阿部真典（東北補装具製作所）	下肢・体幹障害における装具の適用（講義）
18	10月27日	3	駅前	阿部真典（東北補装具製作所）	義肢装具の導入と公的支給制度、義肢装具に関わる職種（講義）
19	11月17日	1	駅前	大山峰生（新潟医療福祉大学）	手外科疾患のリハビリテーション、ハンドセラピー 拘縮
20	11月17日	2	駅前	大山峰生（新潟医療福祉大学）	手外科疾患のリハビリテーション、ハンドセラピー 拘縮
21	11月17日	3	駅前	大山峰生（新潟医療福祉大学）	手外科疾患のリハビリテーション、ハンドセラピー 腱損傷
22	11月24日	1	駅前	大山峰生（新潟医療福祉大学）	手外科疾患のリハビリテーション、ハンドセラピー 腱損傷
23	11月24日	2	駅前	大山峰生（新潟医療福祉大学）	手外科疾患のリハビリテーション、ハンドセラピー 腱損傷
24	11月24日	3	駅前	大山峰生（新潟医療福祉大学）	手外科疾患のリハビリテーション、ハンドセラピー 腱損傷

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	12月8日	1	駅前	高橋勝（附属リハビリテーションセンター）	装具作成（実習） カックアップスプリント
26	12月8日	2	駅前	高橋勝（附属リハビリテーションセンター）	装具作成（実習） カックアップスプリント
27	12月8日	3	駅前	高橋勝（附属リハビリテーションセンター）	装具作成（実習） カックアップスプリント
28	12月15日	1	駅前	嶋原和昭（附属リハビリテーションセンター）	装具作成（実習） 短対立スプリント
29	12月15日	2	駅前	嶋原和昭（附属リハビリテーションセンター）	装具作成（実習） 短対立スプリント
30	12月15日	3	駅前	嶋原和昭（附属リハビリテーションセンター）	装具作成（実習） 短対立スプリント

科目名 : 精神障害作業療法学
英語名称 : Occupational Therapy for Mental Disabilities
担当責任者 : 石川 陽子
開講年次 : 2年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 精神障害領域における作業療法の目的、治療および援助法について、作業療法の歴史やエビデンス、臨床実践で活用されている理論や概念、介入方法を学び、精神障害作業療法の科学的知見や実践応用に関する知識の習得を目指す。内容としては、精神障害作業療法の歴史、理論、実践の過程、病期に応じた介入、精神科作業療法にて対象となることの多い各疾患・障害別（統合失調症、気分障害、神経症性障害、パーソナリティ障害、児童・思春期の精神、てんかん、物質依存）の作業療法の実践を学ぶ。

学習目標 : 1) 精神科作業療法の歴史的背景や基本的な治療構造について説明できる。
2) 精神科作業療法で用いられる治療・援助法の目的と効果、疾患への適応について説明できる。

テキスト : 作業療法学全書 作業治療学2「精神障害」 協同医書出版

参考書 : 精神科作業療法の理論と技術 メジカルビュー社

成績評価方法 : 定期試験80%、レポート20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月25日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	精神科作業療法の歴史
2	10月2日		駅前	林博史（作業療法学科）	精神科医療と作業療法
3	10月16日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	作業療法の構造と実践形態
4	10月23日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	病気に応じた介入
5	10月30日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	疾患別作業療法（統合失調症）
6	11月6日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	疾患別作業療法（気分・感情障害）
7	11月13日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	疾患別作業療法（神経症性障害）
8	11月20日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	疾患別作業療法（摂食障害）
9	11月27日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	疾患別作業療法（パーソナリティ障害）
10	12月4日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	疾患別作業療法（児童・思春期の精神障害）
11	12月11日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	疾患別作業療法（てんかん・物質依存）
12	12月18日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	実践理論（治療構造論，認知行動療法）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月25日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	実践理論（社会生活技能訓練，心理教育）
14	1月15日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	実践理論（芸術療法，園芸療法）
15	1月22日		駅前	石川陽子（作業療法学科）	実践理論（リカバリーモデル，森田療法）

科目名 : 老年期障害作業療法学
英語名称 : Occupational Therapy for Geriatrics
担当責任者 : 曾根稔雅
開講年次 : 2年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 老年期障害領域における作業療法の目的、治療及び援助法について、作業療法のエビデンスや臨床実践で活用されている理論や概念、介入方法を学び、老年期障害作業療法の科学的知見や実践応用に関する知識の習得を目指す。さらに、高齢者の生活機能障害の予防と支援に関する作業療法についても理解を深める。内容としては、老年期障害作業療法の歴史的変遷、老年期の生理的变化と生じやすい障害（身体及び精神的特徴）、認知症に対する介入、介護予防、健康増進、看取りや終末期の取り組み等について学ぶ。

学習目標 : 1) 老年期障害領域における作業療法の基本枠組みを理解できる。
2) 老年期に生じやすい疾患・障害・合併症、身体及び精神的特徴、生活機能障害、認知症について理解できる。
3) 老年期障害領域における作業療法のエビデンスや臨床実践で活用されている理論等が理解できる。
4) 老年期障害領域における作業療法のあり方を理解できる。

テキスト : 作業治療学4 老年期（作業療法学全書）改訂第3版 村田和香（編） 協同医学出版

参考書 : 高齢期領域の作業療法 第2版 山田孝（監修） 中央法規

成績評価方法 : 定期試験70%、レポート30%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月27日	2	駅前	曾根稔雅（作業療法学科）	老年期障害作業療法の概説 老年期障害作業療法の歴史的変遷、理念と目的
2	9月27日	3	駅前	同上	高齢社会 定義、課題、高齢者のライフスタイル
3	10月4日	2	駅前	同上	老年期障害作業療法の関連法規と制度
4	10月4日	3	駅前	同上	老年期の生理的变化と障害 神経、筋力、持久力、骨・関節
5	10月11日	2	駅前	同上	老年期の生理的变化と障害 呼吸、循環、消化、排せつ、皮膚、体温調節、内分泌、睡眠
6	10月11日	3	駅前	同上	老年期の生理的变化と障害 精神・心理・認知
7	10月18日	2	駅前	同上	認知症の作業療法 症状、類型
8	10月18日	3	駅前	同上	認知症の作業療法 パーソンセンタードケア、評価
9	10月25日	2	駅前	同上	認知症の作業療法 評価
10	10月25日	3	駅前	同上	老年期障害作業の理論と実践 予防、適応、回復アプローチ、エビデンス
11	11月1日	2	駅前	同上	場の特性 地域支援事業（予防）
12	11月1日	3	駅前	同上	場の特性 病院（急性期、回復期、療養病床）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	11月8日	2	駅前	同上	場の特性 高齢者施設（老健、特養、通所）
14	11月8日	3	駅前	同上	場の特性 自宅（訪問リハ、看取り・ターミナルケア）
15	11月15日	2	駅前	同上	総括

科目名 : 発達障害作業療法学
英語名称 : Occupational Therapy for Pediatrics
担当責任者 : 倉澤茂樹
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必須

概要 : 発達障害領域における作業療法の目的、治療および援助法について、作業療法のエビデンスや臨床実践で活用されている理論や概念、介入方法を学び、発達障害作業療法の科学的知見や実践応用に関する知識の習得を目指す。内容としては、発達過程の作業療法における作業療法士の役割と意義、各疾患・障害別（脳性麻痺、知的能力障害、自閉スペクトラム症、注意欠陥多動性障害、学習障害等）に応じた作業療法について学習する。

学習目標 : 1) 各疾患の特性を理解した上で、作業療法士の役割について説明することができる。
2) 各疾患に対する作業療法の評価計画が立案できる。
3) 各疾患に適応される作業療法アプローチについて説明できる。

テキスト : イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社 辛島千恵子 編集

参考書 : 標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第6版 医学書院 前垣義弘 編著
標準理学療法学・作業療法学 発達過程作業療法学 第3版 医学書院 加藤寿宏 編著

成績評価方法 : 成績評価方法：定期試験70%、小テスト30%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	発達過程の作業療法について 作業療法士の役割と意義
2	10月5日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	脳性麻痺 疫学 (原因や症状、種別など)
3	10月12日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	脳性麻痺 作業療法 (評価介入)
4	10月19日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	知的発達症 疫学 (原因や症状、併存症など)
5	10月26日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	知的発達症 作業療法 (評価、介入など)
6	10月26日	5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	自閉スペクトラム症 疫学 (原因や症状、併存症など)
7	11月2日	5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	自閉スペクトラム症 作業療法 (評価、介入など)
8	11月16日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	注意欠如/多動症 疫学 (原因や症状、依存症など)
9	11月16日	5	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	注意欠如/多動症 作業療法 (評価、介入など)
10	11月30日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	限局性学習症 疫学 (原因や症状、併存症など)
11	12月7日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	限局性学習症 作業療法 (評価、介入など)
12	12月14日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	思春期に好発する精神疾患 チック症・不安症

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月14日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	思春期に好発する精神疾患 恐怖症・強迫症
14	1月25日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	思春期に好発する精神疾患 恐怖症・強迫症
15	2月1日	4	駅前	倉澤茂樹 (作業療法学科)	思春期に好発する精神疾患 その他

科目名 : 高次脳機能障害作業療法学
英語名称 : Occupational Therapy for Higher Brain Dysfunction
担当責任者 : 川崎伊織
開講年次 : 2年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 高次脳機能障害における作業療法評価・検査法、及び作業療法介入に関する基本的知識の習得を目指す。内容としては、頭部外傷や脳血管障害等の大脳の器質性疾患を伴って生ずる注意障害、記憶障害、失行症、失認症、失語症、遂行機能障害の作業行動上の課題と作業療法評価法、及び作業療法介入の概要について学ぶ。また、高次脳機能障害者の社会参加、就業支援の現状を踏まえ、高次脳機能障害者に対する作業療法の介入について理解を深める。

学習目標 : 1) 高次脳機能障害と作業行動上の問題について説明できる。
2) 高次脳機能障害に対する作業療法評価法の基礎的内容を理解し、説明できる。

テキスト : 能登真一編：標準作業療法学「高次脳機能障害作業療法学」 医学書院

参考書 : なし（配布資料）

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11月15日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	高次脳機能障害とは 高次脳機能障害者の社会生活
2	11月22日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	注意障害による作業行動上の課題
3	11月22日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	注意障害の作業療法評価
4	11月29日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	記憶障害による作業行動上の課題
5	11月29日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	記憶障害の作業療法評価
6	12月6日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失語症による作業行動上の課題
7	12月6日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失語症の作業療法評価
8	12月13日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失行症による作業行動上の課題
9	12月13日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失行症の作業療法評価
10	12月20日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失認症による作業行動上の課題
11	12月20日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	失認症の作業療法評価
12	12月27日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	遂行機能障害による作業行動上の課題

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月27日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	遂行機能障害の作業療法評価
14	1月17日	2	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	認知症による作業行動上の課題
15	1月17日	3	駅前	川崎伊織（作業療法学科）	高次脳機能障害の作業療法概説、 認知リハビリテーション

科目名 : 日常生活活動学
英語名称 : Activities of Daily Living
担当責任者 : 五百川和明
開講年次 : 2年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 日常生活活動の評価と介入の視点を学ぶとともに、疾患や障害による日常生活活動の障害に関する基本的知識の習得を目指す。内容としては、基本的日常生活活動（起居・移乗・移動、更衣、整容、食事、排泄、入浴、コミュニケーション）や手段的日常生活活動（掃除、調理、余暇・遊び）の障害と問題点を学び、作業療法評価と介入・指導方法について学ぶ。さらに、日常生活における家族介護者の支援や環境整備等の生活支援の多様な視点についても理解を深める。

学習目標 : 1. 日常生活活動の概念と範囲を説明することができる。
2. 日常生活活動に対する作業療法の目的、役割、理論を説明することができる。
3. 日常生活活動別の問題点と援助の視点を説明することができる。
4. 日常生活活動の評価について説明することができる。
5. 日常生活活動への介入について説明することができる。

テキスト : ・酒井ひとみ，編：作業療法技術学 3，日常生活活動（作業療法学全書），改訂第3版，協同医書出版

参考書 : ・なし（配布資料）

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	4	福島駅前キャンパス	五百川 和明 (作業療法学科)	オリエンテーション、生活活動の概念と範囲
2	4月17日	4	福島駅前キャンパス	同上	生活活動障害に対する作業療法の目的、役割、理論
3	4月24日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL項目別障害・問題点と介入法①起居・移乗・移動
4	5月1日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL項目別障害・問題点と介入法②更衣
5	5月8日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL項目別障害・問題点と介入法③整容
6	5月19日	3	福島駅前キャンパス	同上	ADL項目別障害・問題点と介入法④食事
7	5月26日	3	福島駅前キャンパス	同上	ADL項目別障害・問題点と介入法⑤排せつ
8	5月29日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL項目別障害・問題点と介入法⑥入浴
9	6月5日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL項目別障害・問題点と介入法⑦コミュニケーション
10	6月12日	4	福島駅前キャンパス	同上	IADL項目別障害・問題点と介入法①(掃除)
11	6月19日	4	福島駅前キャンパス	同上	IADL項目別障害・問題点と介入法②(調理)
12	6月26日	4	福島駅前キャンパス	同上	IADL項目別障害・問題点と介入法③(余暇、遊び)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月3日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL、IADLの評価
14	7月10日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL、IADLへの介入、支援（対象者）
15	7月24日	4	福島駅前キャンパス	同上	ADL、IADLへの介入、支援（介護者支援、環境整備、制度）

科目名 : 日常生活活動学実習
英語名称 : Practice of Activities of Daily Living
担当責任者 : 藤田貴昭
開講年次 : 2年 後期 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 日常生活活動学で学んだ知識をもとに、主に身体障害に起因する基本的日常生活活動（ADL）および手段的日常生活活動（IADL）の障害に対する作業療法介入及び指導・援助法の基本的技術の習得を目指す。内容としては、障害別（運動器障害、神経系障害）にADLおよびIADLの各動作の特徴と援助方法を理解し、対象者が必要とする日常生活活動や社会活動を支援するための介入方法、指導方法、環境調整等について、学生間の演習や実習を通して理解を深める。

学習目標 : 1) 基本的日常生活活動（ADL）および手段的日常生活活動（IADL）の障害に対する作業療法支援技術を習得する。
2) 障害別（運動器障害、神経系障害）にADLおよびIADLの各動作の特徴と援助方法を説明することができる。
3) 日常生活活動の評価、作業療法介入の立案を模擬的に行うことができる。

テキスト : 作業療法技術学3 日常生活活動（作業療法学全書）改訂第3版 酒井ひとみ（編） 協同医書出版

参考書 : なし（配布資料）

成績評価方法 : 定期試験50%、レポート50%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月26日	1	駅前	藤田貴昭（作業療法学科）	オリエンテーション 日常生活活動の評価と介入
2	9月26日	2	駅前	同上	ADL評価実習：Barthel Index（概要）
3	9月26日	3	駅前	同上	ADL評価実習：Barthel Index（事例演習）
4	10月3日	1	駅前	同上	ADL評価実習：Functional Independence Measure（概要）
5	10月3日	2	駅前	同上	ADL評価実習：Functional Independence Measure（運動器疾患事例演習）
6	10月3日	3	駅前	同上	ADL評価実習：Functional Independence Measure（神経系疾患事例演習）
7	10月10日	1	駅前	同上	IADL評価実習：老研式活動能力指標
8	10月10日	2	駅前	同上	IADL評価実習：Lawton IADL尺度
9	10月10日	3	駅前	同上	IADL評価実習：事例演習
10	10月17日	1	駅前	田中善信（作業療法学科）	AMPS 概要①（OTIPM、COPM）
11	10月17日	2	駅前	同上	AMPS 概要②（技能項目と課題）
12	10月17日	3	駅前	同上	AMPS 概要③（実施手順）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	10月24日	1	駅前	同上	AMPS 実践①（課題契約と環境設定）
14	10月24日	2	駅前	同上	AMPS 実践②（ADL場面の観察実習）
15	10月24日	3	駅前	同上	AMPS 実践③（IADL場面の観察実習）
16	10月31日	1	駅前	浅尾章彦（作業療法学科）	実践的介入 食事①（講義）
17	10月31日	2	駅前	同上	実践的介入 食事②（運動器疾患事例実習）
18	10月31日	3	駅前	同上	実践的介入 食事③（神経系疾患事例実習）
19	11月7日	1	駅前	同上	実践的介入 排泄①（講義）
20	11月7日	2	駅前	同上	実践的介入 排泄②（運動器疾患事例実習）
21	11月7日	3	駅前	同上	実践的介入 排泄③（神経系疾患事例実習）
22	11月14日	1	駅前	藤田貴昭（作業療法学科）	実践的介入 更衣①（講義）
23	11月14日	2	駅前	同上	実践的介入 更衣②（運動器疾患事例実習）
24	11月14日	3	駅前	同上	実践的介入 更衣③（神経系疾患事例実習）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	11月21日	1	駅前	藤田貴昭（作業療法学科）	実践的介入 整容、入浴①（講義）
26	11月21日	2	駅前	同上	実践的介入 整容、入浴②（運動器疾患事例実習）
27	11月21日	3	駅前	同上	実践的介入 整容、入浴③（神経系疾患事例実習）
28	11月28日	1	駅前	浅尾章彦（作業療法学科）	実践的介入 移動、外出①（講義）
29	11月28日	2	駅前	同上	実践的介入 移動、外出②（運動器疾患事例実習）
30	11月28日	3	駅前	同上	実践的介入 移動、外出③（神経系疾患事例実習）
31	12月5日	1	駅前	同上	実践的介入 掃除①（講義）
32	12月5日	2	駅前	同上	実践的介入 掃除②（運動器疾患事例実習）
33	12月5日	3	駅前	同上	実践的介入 掃除③（神経系疾患事例実習）
34	12月12日	1	駅前	田中善信（作業療法学科）	実践的介入 調理①（講義）
35	12月12日	2	駅前	同上	実践的介入 調理②（運動器疾患事例実習）
36	12月12日	3	駅前	同上	実践的介入 調理③（神経系疾患事例実習）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
37	12月19日	1	駅前	同上	実践的介入 余暇、遊び①（講義）
38	12月19日	2	駅前	同上	実践的介入 余暇、遊び②（運動器疾患事例実習）
39	12月19日	3	駅前	同上	実践的介入 余暇、遊び③（神経系疾患事例実習）
40	12月26日	1	駅前	藤田貴昭（作業療法学科）	実践的介入 コミュニケーション①（講義）
41	12月26日	2	駅前	同上	実践的介入 コミュニケーション②（ICT機器実習）
42	12月26日	3	駅前	同上	実践的介入 コミュニケーション③（スイッチ作成実習）
43	1月16日	1	駅前	藤田貴昭・浅尾章彦・田中善信（作業療法学科）	事例検討（運動器疾患事例）
44	1月16日	2	駅前	同上	事例検討（神経系疾患事例）
45	1月16日	3	駅前	同上	事例検討（複合疾患事例）

科目名 : 臨床技能実習Ⅰ
英語名称 : Practice of Clinical SkillsⅠ
担当責任者 : 木村夏実
開講年次 : 2年 通年 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 臨床実習Ⅱ、Ⅲで求められる、主に作業療法評価に関する知識や技術及び態度に関する統合的理解と技術の習得を目指す。内容としては、1年次で学修してきた知識や技術を再確認・整理しながら、臨床事例を基に「作業療法評価の視点及び作業療法評価方法と結果の解釈」に関して学び、模擬事例に対する作業療法評価に関する実習を通して、作業療法評価に必要な技術、態度を学ぶ。授業はグループを構成し、作業療法評価に関する演習及び実習を行う。

学習目標 : 1) 意欲的に実習に取り組む姿勢を身に付ける(疑問の抽出、教員への質問、予習・復習、他)・
2) 作業療法評価の基本的技術を学生間で模倣できる(面接、記録、観察評価、検査)

テキスト : 能登真一 山口昇 他編 作業療法評価学第3版 標準作業療法学 医学書院
山口美和 著 PT・OTのためのこれで安心 コミュニケーション実践ガイド 医学書院

参考書 : 齋藤佑樹 編集 作業で語る事例報告 作業療法レジメの書きかた・考えかた第2版 医学書院

成績評価方法 : レポート100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	6	駅前キャンパス	木村夏実（作業療法学科）	【前期】オリエンテーション 臨床実習とは、臨床実習の目的
2	4月11日	7	駅前キャンパス	木村夏実（作業療法学科）	臨床実習Ⅱ、Ⅲの学習目標、学生に求められる知識・技術・態度
3	4月25日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・情報収集 グループ演習（学んだ点、疑問点、感想）
4	4月25日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・情報収集 グループ演習（疑問点の検討、実習への準備）
5	5月2日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・面接時の表情、話し方、聞き方 グループ演習（学んだ点、疑問点、感想）
6	5月2日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・面接時の対象者との距離感、評価者の姿勢と目線 グループ演習（疑問点の検討、実習への準備）
7	5月9日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・面接内容 グループ演習（学んだ点、疑問点、感想）
8	5月9日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・面接内容 グループ演習（疑問点の検討、実習への準備）
9	5月16日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・主訴、ニーズの聞き取り グループ演習（学んだ点、疑問点、感想）
10	5月16日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・主訴、ニーズの聞き取り グループ演習（疑問点の検討、実習への準備）
11	5月23日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法評価計画と対象者への説明 グループ演習（学んだ点、疑問点、感想）
12	5月23日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・三橋佑平・松本大典（作業療法学科）	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法評価計画と対象者への説明 グループ演習（疑問点の検討、実習への準備）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月30日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・身体の触れ方 グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
14	5月30日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・身体の触れ方 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
15	6月6日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・評価の仕方 グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
16	6月6日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・評価の仕方 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
17	6月13日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・評価結果の伝え方 グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
18	6月13日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・評価結果の伝え方 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
19	6月20日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 観察(動作・作業の模倣) グループ実習 *19-22 3年生合同授業
20	6月20日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 観察(動作・作業と記録) グループ実習
21	6月27日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 観察(動作分析) グループ実習
22	6月27日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 観察(作業分析) グループ実習
23	7月4日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 模擬面接(導入) グループ実習
24	7月4日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 模擬面接(ニーズの聴取) グループ実習

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	7月11日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 検査(運動機能) グループ実習
26	7月11日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 検査(知覚機能) グループ実習
27	7月18日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 検査(精神機能) グループ実習
28	7月18日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 検査(心理機能) グループ実習
29	7月25日	6	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 検査(知的機能) グループ実習
30	7月25日	7	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	作業療法評価の基本的技術 検査(生活機能) グループ実習
31	9月22日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	【後期】 臨床実習Ⅲの振り返り グループ演習 評価の意味(演習)
32	9月22日	5	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅲの振り返り グループ演習 評価の意味(発表)
33	9月29日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・評価の解釈 グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
34	9月29日	5	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・評価の解釈 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
35	10月6日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・全体像の解釈 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備、 学んだ点、疑問点、感想)
36	10月6日	5	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・全体像の解釈 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
37	10月13日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法目標設定 グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
38	10月13日	5	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法目標設定 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
39	10月20日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法治療計画 グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
40	10月20日	5	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法治療計画 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
41	10月27日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法治療プログラム グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
42	10月27日	5	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法治療プログラム グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
43	11月17日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法臨床推論 グループ演習(学んだ点、疑問点、感想)
44	11月17日	5	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	臨床実習Ⅱでの実践経験の共有 ・作業療法臨床推論 グループ演習(疑問点の検討、実習への準備)
45	11月24日	4	駅前キャンパス	木村夏実・小笠原牧・ 三橋佑平・松本大典 (作業療法学科)	総括

科目名 : 臨床実習Ⅱ
英語名称 : Clinical Practice Ⅱ
担当責任者 : 藤田貴昭
開講年次 : 2年 通年 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 作業療法の対象疾患と基本的作業療法評価について、専任教員による実際の作業療法評価場面の見学を通して、対象者への基本的な関わり方、対象患者の疾患や症状、作業療法評価に必要な知識や技術、態度を学ぶ。本実習は、2年次通年で隔週1回（半日）、担当専任教員の指導・監督のもとで行う。前期の実習では、臨床実習Ⅲ（2年次後期）に向けた実習を目的とし、後期は臨床実習Ⅲで習得した技能を深める実習と位置付ける。本学附属病院の他、近隣の身体障害、精神障害領域の病院において実習を行う。

学習目標 : 1) 意欲的に実習に取り組む姿勢を身に付ける（疑問の抽出、指導者への質問、予習・復習）。
2) 作業療法評価の基本的技術を模倣できる。

テキスト : 臨床実習共通要綱、臨床実習Ⅱ要綱

参考書 : 能登真一 山口昇 他編 作業療法評価学第3版 標準作業療法学 医学書院
1年次に使用した教科書
必要に応じて紹介する

成績評価方法 : 実習報告書60%、レポート20%、ポートフォリオ20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
	1～15回目	5～7	臨床実習施設	五百川和明、倉澤茂樹、 曾根稔雅、澄川幸志、藤 田貴昭、浅尾章彦、川崎 伊織、石川陽子、川又寛 徳三橋佑平、小笠原牧、 田中善信、木村夏実、松 本大典	オリエンテーション、作業療法面 接場面見学、作業療法評価場面見 学、作業療法治療場面見学、まと め

科目名 : 臨床実習Ⅲ
英語名称 : Clinical Practice Ⅲ
担当責任者 : 曾根稔雅
開講年次 : 2年 後期 3単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 臨床実習施設での作業療法評価の一部の経験を通して、作業療法評価に必要な基本的な知識、技術および態度の習得を目指す。内容としては臨床実習指導者の指導・監督の下で、対象者の情報収集、面接、作業療法評価計画の立案を行い、学生が実施できると臨床実習指導者が認めた評価法を実施し、結果をまとめる。この実習を通して、評価に必要な準備や対象者への配慮、作業療法評価の適切な実施方法を学び、得られた結果から対象者の能力や生活上の困難さを理解する。さらに、各実習施設の地域医療の役割に即した作業療法についても学ぶ。本実習は、2年次後期始めの3週間の実習であり、2年次通年の臨床実習Ⅱとの継続的学修を考慮し、主に身体障害、精神障害領域の施設で行う。教員は学生の実習状況を確認し、学生への教育指導に加え、実習指導者への実習指導に関する教育的な助言や調整を行う。担当教員は定期的に学生および実習指導者と連絡をとって指導するとともに現地巡回を行って指導する。本科目は、本学部がキーワードとしている「地域医療」に関連する科目である。

学習目標 :
1) 作業療法評価に必要な基本的知識を習得する。
・疾患に関する一般的特徴を説明できる。
・対象者に必要な評価手段を選択できる。
・選択した評価手段の目的・方法を説明できる。
・対象者に関する情報や作業療法評価結果を記録することができる。
・得られた情報や評価結果から対象者の状態について理解することができる。
2) 作業療法評価に必要な基本的技術を習得する。
・対象者・家族から生活状況、ニーズを聴取することができる。
・対象者に関する情報を診療録や他職種から収集することができる。
・対象者に必要な評価の一部について、指導者の技術の模倣を通して安全に実施することができる。
3) 作業療法評価に必要な基本的態度を習得する。
・対象者・家族に礼節のある態度で謙虚に対応することができる。
・指導者の指導を素直に受け入れ前向きに取り組む事ができる。
・必要に応じて質問し自分の意見を述べる事ができる。

テキスト : 臨床実習共通要綱、臨床実習Ⅲ要綱

参考書 : 能登真一 山口昇 他編 作業療法評価学第3版 標準作業療法学 医学書院
2年前期までに使用した教科書
必要に応じて紹介する

成績評価方法 : 実習報告書60%、症例報告（発表及び報告書）20%、ポートフォリオ20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1 週 目	8/28-		臨床実習施設	臨床実習指導者（各実習施設）、 五百川和明、倉澤茂樹、曾根稔 雅、澄川幸志、藤田貴昭、浅尾章 彦、川崎伊織、石川陽子、川又寛 徳三橋佑平、小笠原牧、田中善 信、木村夏実、松本大典（作業療 法学科教員）	オリエンテーション、施設内各部 署業務見学、作業療法場面見学、 作業療法評価実施（情報収集、面 接）
2週 目			同上	同上	作業療法場面見学、作業療法評価 実施（一部の検査） 教員訪問指導
3週 目	-9/15		同上	同上	作業療法場面見学、作業療法評価 実施（一部の検査、検査結果のま とめ）

* 実習開始前学内オリエンテーションや実習後の報告会などは別途日程で実施する。